

事業名：農業振興資金貸付事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有し、且つ、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づく農用地区域内に経営地を有する農業者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	総農家数	世帯	398	398	398	398
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

融資機関（農協）が農業者に貸付ける振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。  
 ◎ 1～5号資金  
 市が農協に融資額の1/2を預託  
 ◎ 6号資金  
 市が農協に融資額の2/3を預託

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	新規貸付件数	件	0	0	0	5
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	5,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・機械等の導入実現のため、国・道の制度資金を補完する融資事業であり、低利で利用しやすい貸付資金の提供により、施設・機械等を導入しやすくし、農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業所得の向上、農業生産の基盤強化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	施設・機械等の導入数	件	0	0	0	5
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	7,891	3,116	1,080	5,533
正職員人件費 (B)		千円	1,905	1,907	1,922	1,935
総事業費 (A+B)		千円	9,796	5,023	3,002	7,468

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	融資期間（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠3件、新規枠0件）1,080千円	

**事業開始背景**

昭和45年度、農業者の自立安定経営のため、国、道等の制度資金を補完する融資事業として、農産物の生産性や所得の向上を図るために開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

国、道等の制度資金は見直しが行われ、融資内容は充実してきたものの、貸付条件・手続等の理由により、大口での利用以外は利用しにくいのが現状である。一方、農業を取り巻く環境は、海外農産物の輸入増加など益々厳しくなっており、農業経営の改善を進める上で振興資金の提供は今後も必要となってくる。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	国の補助事業や農協での融資の幅が拡充され、金利も低く推移しており、振興資金を利用しなくとも低利率の民間融資が提供されている。また、積極的な融資を促すものではなく、補助事業や民間の融資で融通できなかった農業者が、この資金を利用して必要最小限の投資を行うセーフティーネットであり、該当案件は減少している。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	農業経営には多くの経費が必要となり、新たに積極的な投資を行うことは難しく、助成条件を見直したとしても、現状と同様に農業活動に見合った必要最小限の投資となることに変わりはないと考えられる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	現状のところ、金融機関へ原資を預託する形態を採っていることから、直接的な支出が生じておらず、コスト面では負担の少ない手法だと考えられる。
	なし		

事業名：合併処理浄化槽設置貸付事業

【事業番号 38】  
農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の下水道が整備されていない地域の農業者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	総農家数	世帯	398	398	398	398
対象指標 2	下水道認可区域外の世帯	世帯	1,555	1,553	1,554	1,590

手段（事務事業の内容、手法）

農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）としての原資の一部として融資機関に無利子で預託を行うことにより農業者への貸付利率の低減を図る。  
※生活環境部環境室では、合併処理浄化槽の助成金制度があり、設置に係る費用の一部（基準助成額）の概ね4割を国費、道費、市費で助成しており、設置費用残額（上限あり）を農業振興課で貸付するものである。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	新規貸付件数	基	0	0	0	2
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	1,450

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	設置基数	基	0	0	0	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	180	0	0	1,450
正職員人件費 (B)		千円	381	381	384	387
総事業費 (A+B)		千円	561	381	384	1,837

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）融資期間（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠0件、新規枠0件）0千円	

**事業開始背景**

平成8年度より公共下水道の整備されていない地域の水洗化、公共用水域の水質汚濁防止の推進を図るための合併処理浄化槽の設置に係る助成金制度が実施され、これを補完する事業として、設置費用の残額に対する貸付を行っている。

**事業を取り巻く環境変化**

助成金制度の補助世帯数は減少傾向にあり、貸付については令和元年度で終了した。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
住宅建設と並行して整備する場合、住宅の融資とまとめて融資をまとめて融資を受ける事例もあり、また、近年では浄化槽の整備が進んでいることから、申請は少ない。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
貸付条件を見直したとしても、必要最小限の投資となることには変わらない。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
現在、農業振興資金の原資を預託しており、直接の支出を生じていないので、負担の少ない手法である。		

事業名：鳥獣被害防止対策事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業被害等をもたらす鳥獣

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	対象鳥獣	種類	4	4	4	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

鳥獣被害対策実施隊を設置するなど、関係機関との連携により対策を講じる。また、「有害鳥獣駆除助成事業補助金交付要領」に基づき、鳥獣被害防止対策を行う団体等の事業に対して補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	鳥獣被害対策実施隊出動数	回	101	299	194	248
活動指標 2	鳥獣被害対策実施隊派遣数	人(のべ)	378	556	387	482

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

鳥獣による農業被害を減少させる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	鳥獣捕獲数	頭・羽	206	130	167	130
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	57	65
正職員人件費 (B)		千円	2,666	2,669	2,690	2,709
総事業費 (A+B)		千円	2,666	2,669	2,747	2,774

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	鳥獣による農業被害拡大防止のための捕獲活動等	捕獲活動等経費	57千円 このほか、江別市鳥獣被害防止対策協議会へ直接交付される国費を活用

**事業開始背景**

ペットとして持ち込まれたアライグマが野生化し、農産物への被害が問題化した。アライグマは繁殖力が強く、毎年駆除し続ける必要がある。平成14年度まで、道央農業協同組合が捕獲したものは研究材料として、酪農学園大学に無償で引き取られていたが、平成15年度から有償となったため、処理経費の一部を市で助成することとなった。

**事業を取り巻く環境変化**

エゾシカ等の鳥獣による農業被害等が増えている状況を受け、平成25年10月、鳥獣被害防止特措法に規定される被害防止計画を策定し、関係機関の連携により協議会を組織し、対策を講じることとした。平成26年度以降は国の補助事業を活用し、協議会による鳥獣の捕獲を進めてきたところだが、近年、全国各地で同補助金の不正受給の事例が相次いだため、協議会による適正事務がより一層求められるようになった。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

		(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	最も大きな農業被害をもたらすエゾシカに対し、発生の多い地区において集中的な罠がけを行ったこと、その他獣種についても捕獲効率の高い実施場所の選定等を行ったことで捕獲頭数の増加につながった。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
		(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	担い手不足等から捕獲実績を伸ばし続けることは難しいが、罠がけの講習会の開催等により、新たな担い手が確保できれば、成果が上がる余地はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
		(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？	
コスト	ある	理由根拠	国の交付金を活用した鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動がメインであり、市の支出は必要最低限となっている。
	なし		

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり		
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化		
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	924	924
対象指標 2	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510

手段（事務事業の内容、手法）

〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。  
 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。  
 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	867	2,125	1,847	1,583
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	610	610	700	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	特産品の認知回数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	1,477	2,735	2,547	2,283
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,844	3,871
総事業費 (A+B)		千円	5,286	6,549	6,391	6,154

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小麦生産団体への補助</li> <li>和牛生産団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 1,847千円</li> <li>黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 700千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

小麦品種「ハルユタカ」は全国的に知名度があり、特に江別産のイメージが強く、ブランド化できる品種として有望である。しかし、「ハルユタカ」は収量が不安定なことから、全道的に収穫量が減少し、これに伴って種子生産量も減少した。市内の作付面積確保には種子を自前で用意する必要がある。本事業では種子不作時の補てんを目的とした基金を設立し、種子生産拡大を誘導することによって「ハルユタカ」生産量の拡大を目指すこととした。

**事業を取り巻く環境変化**

黒毛和牛については、飼料価格や素牛価格の高騰、枝肉取引価格の下落等、肉牛生産農家は厳しい状況に直面している。中力系小麦品種「きたほなみ」は、パンやラーメンでは「ハルユタカ」のブレンド用粉として使用され、うどんやお菓子にも使用されている江別産小麦製品として無くてはならない品種だが、現行の国の農業政策である経営所得安定対策においては、パンや中華麺用の強力・超強力系品種への交付金に加算措置を設けるなどの作付誘導策がとられており、市内においても「ゆめちから」をはじめとした強力・超強力系品種へ作付をシフトする生産者が増加し、「きたほなみ」の収量確保が困難となる可能性が出てきた。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
	上がっていない	
<p>成果指標は、すでにブランディングされている小麦「麦の里えべつ」と黒毛和牛「えぞ但馬牛」の2品目で横ばいだが、小麦で加工品に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の一定確保につながり、全道の黒毛和種の上物率（枝肉格付けA-5・A-4の割合）は70.0%に対し、江別の黒毛和種「えぞ但馬牛」は95.5%となっていることから、成果は向上していると考えられる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	<b>成果向上余地 中</b>	
	成果向上余地 小	
<p>事業を継続し、小麦品種や黒毛和種の安定供給を図ることで、製品の拡大や付加価値の向上につながる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	<b>なし</b>	
<p>現在の飼料価格や素牛価格の高騰、さらに、国の強力粉加算の動向等を踏まえると、市内で生産される黒毛和牛や小麦品種の安定供給には、現状の支援を継続していく必要がある。</p>		

事業名：「食」と「農」の豊かさ発見実践事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生及び市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,726	8,668	8,582	8,583
対象指標 2	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510

手段（事務事業の内容、手法）

- ・生産者等を講師に小中学生を対象とした農業体験及び加工体験を実施する。
- ・食育を推進するための協議会を開催する。
- ・農業者団体が実施する消費者との交流活動の事業費を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	農業体験学習等延べ実施回数	回	52	56	54	53
活動指標 2	食育推進協議会議実施回数	回	1	1	0	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

「食」についての共通認識のもと、次代を担う小中学生や消費者に、「食ること」の大切さと「地域農業」に対する理解を深めてもらう。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	農業体験学習等延べ参加者数	人	2,950	2,939	2,918	2,997
成果指標 2	参加者の「食」及び「農業」に対する関心度	%	97.6	97.2	95	100

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	3,389	4,067	4,020	3,797
正職員人件費 (B)		千円	7,237	7,246	7,303	7,354
総事業費 (A+B)		千円	10,626	11,313	11,323	11,151

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生食育事業（農業体験学習等・一部委託）</li> <li>・中学生食育事業（出前授業・レシピコンテスト）</li> <li>・学校給食への地場産牛乳の提供</li> <li>・農業者団体が実施する農業体験への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生食育事業費 3,601千円</li> <li>・中学生食育事業費 168千円</li> <li>・地場産農産物導入支援 51千円</li> <li>・農業体験への補助 100千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

生活様式の多様化や食の消費及び供給構造が大きく変化する昨今、「食」の安全・安心に対する関心が非常に高まっている。このような背景のなか、江別市では平成13年度より小学校などを対象とした農業体験学習を実施してきたところである。  
 更に、平成17年度には、国の食育基本法の施行に先行して、江別市食育推進協議会を設置し、食育推進ボランティアの育成、地産地消の推進、「食」と「農」の体験学習など、地域の特性を活かした食育のあり方を検証しながら実施してきた。

**事業を取り巻く環境変化**

食育基本法の施行に伴い、平成23年度から江別市食育推進計画（平成26年度から第2次計画・平成31年度から第3次計画）を策定し、多様な主体による連携・協働、ライフステージごとの食育を推進している。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                     産学官連携の組織である食育推進協議会による食育事業や、市内農家による食育活動が各機関で評価を受けるなど、江別市内にとどまらず、広くその取り組みが知られている。                      また、小学校だけでなく中学校を対象とした事業も広がり、世代にあわせた食育や家庭を巻き込んだ食育事業を展開している。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	産学官連携の組織である食育推進協議会による食育事業や、市内農家による食育活動が各機関で評価を受けるなど、江別市内にとどまらず、広くその取り組みが知られている。 また、小学校だけでなく中学校を対象とした事業も広がり、世代にあわせた食育や家庭を巻き込んだ食育事業を展開している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	産学官連携の組織である食育推進協議会による食育事業や、市内農家による食育活動が各機関で評価を受けるなど、江別市内にとどまらず、広くその取り組みが知られている。 また、小学校だけでなく中学校を対象とした事業も広がり、世代にあわせた食育や家庭を巻き込んだ食育事業を展開している。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                     市内の希望校数が増加している中で、受け入れ先の農家や機関等を維持、継承することが必要である。                      また、事務局以外の実施主体を確保することで、より多くの小中学生が体験する機会を設けることができる。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	市内の希望校数が増加している中で、受け入れ先の農家や機関等を維持、継承することが必要である。 また、事務局以外の実施主体を確保することで、より多くの小中学生が体験する機会を設けることができる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	市内の希望校数が増加している中で、受け入れ先の農家や機関等を維持、継承することが必要である。 また、事務局以外の実施主体を確保することで、より多くの小中学生が体験する機会を設けることができる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">                     すでに一部業務を外委託しているため、これ以上のコスト削減は難しい。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	すでに一部業務を外委託しているため、これ以上のコスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	すでに一部業務を外委託しているため、これ以上のコスト削減は難しい。				
なし						

事業名：都市と農村交流事業

【事業番号 764】  
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり						
取組の基本方針	01 都市型農業の推進	具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化						
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	924	924
対象指標 2	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	イベント開催回数	回	16	17	15	17
活動指標 2	各部会等開催回数	回	9	10	8	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	580,762	614,959	596,862	615,000
成果指標 2	イベント参加者の満足度	%	95	100	100	100

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	1,266	1,130	1,010	1,600
正職員人件費 (B)		千円	5,333	5,339	5,381	5,419
総事業費 (A+B)		千円	6,599	6,469	6,391	7,019

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助（協議会の事業内容：野菜作り講習会開催、直売所MAP作成、直売所スタンプラリー開催、収穫体験ツアー開催、加工品フェア開催など）</li> <li>6次産業化支援のための農業者等への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会への補助</li> <li>農畜産物加工新商品開発等支援補助金</li> </ul>	<p>900千円 110千円</p>

<b>事業開始背景</b>
農業への関心を高めてもらう機会を提供する場として、産地直売所や貸し農園（観光農園）などを通じた「まち」と「むら」のふれあい交流・体験活動を行っていることと市内の産地直売所17ヶ所と貸し農園6ヶ所により、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が平成17年5月24日に設立された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
消費者との交流を図りながら、ニーズに応えた活動を展開している。令和2年からは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来とは異なる新しい生活様式などを取り入れた交流が必要となる。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>「グリーンツーリズム関連施設の利用者数」は、平成30年度に直売所がリニューアルオープンしたため大幅に増加しているが、令和元年度は平年並みの利用者数であった。  また、新型コロナウイルスの影響により3月に開催予定だった「農家のかあさん土曜日」が中止になったことなどから、利用者数が減少した。  なお、「イベント参加者の満足度（アンケート調査）」は、引き続き高い数値を維持している。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>すでに様々な手法での情報発信等を行っているが、今後も継続して実施していくことが重要と考える。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>各種イベント等の開催に係る必要最低限のコストで実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>		

事業名：酪農経営安定技術高度化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内酪農家

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	酪農家戸数	戸	39	37	37	37
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・「乳質改善促進事業実施要領」に基づき、乳質検査に係る経費の一部に対して補助を行う。（定額150千円）
- ・「産学官連携畜産技術高度化促進支援事業実施要綱」に基づき、江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内）
- ・「酪農ヘルパー支援事業実施要綱」に基づき、酪農ヘルパー人件費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,200	1,177	1,158	1,050
活動指標 2	検査牛延べ頭数	頭	15,214	15,458	15,426	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産性の向上と就業環境の整備が図られ、持続可能で安定した酪農経営ができる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	酪農家1戸当たり乳量	t	562.2	580.7	571.8	580.7
成果指標 2	酪農ヘルパー利用延べ回数	回	430	284	444	284

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	1,200	1,177	1,158	1,050
正職員人件費 (B)		千円	5,333	5,339	5,381	5,419
総事業費 (A+B)		千円	6,533	6,516	6,539	6,469

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳質検査に係る経費の一部に対して助成を行う。</li> <li>・江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して助成を行う。</li> <li>・酪農ヘルパー人件費の一部に対して助成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳質サンプル検査に係る経費への補助</li> <li>・江別市ホルスタインショウに係る経費への補助</li> <li>・酪農ヘルパー人件費への補助</li> </ul>	150千円 308千円 700千円

<b>事業開始背景</b>	
本事業は、酪農家の経営安定と技術の高度化を図るという共通の目的をもった3つの事業（乳質改善促進事業・産学官連携畜産技術高度化促進事業・酪農ヘルパー支援事業）を統合したものである。	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
継続的な酪農振興と経営の安定化を図るためには、生乳検査による乳質の改善が必要であり、優秀な乳牛の優劣を競うことで飼養管理技術の情報交換による生産性の向上が図られている。また、家畜飼養の特殊性から農休日の確保が困難であり、担い手が定着しにくい状況となっていることから、酪農ヘルパー事業を積極的に支援することによる酪農業後継者の育成・確保に適した環境の整備が必要となっている。	

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>			
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>			
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	乳質検査による個体管理や、ホルスタインショウでの飼養管理技術の情報交換により、乳量の増加等の成果も上がっている。酪農ヘルパーの利用も進んでおり、酪農家の負担軽減につながっている。
	<b>どちらかといえば上がっている</b>		
	上がっていない		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>			
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	乳質検査の実施や、ホルスタインショウでの飼養管理技術の意見交換により、優良牛の育成は既に高いレベルに達しており、乳量に関しては大きく向上することは期待できない。ヘルパー利用数に関しては、ヘルパーの担い手不足が利用回数の制限要因となっているため、人員が確保できれば向上する余地がある。
	成果向上余地 中		
	<b>成果向上余地 小</b>		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>			
コスト	ある	理由 根拠	乳質改良促進事業については事業主体の運営が安定し、補助を行わなくとも事業の継続が可能となったことから令和元年度をもって廃止。ヘルパー支援事業は、市の補助金が運営の大きな支えとなっており、削減されれば事業の実施が困難となる。また、江別市ホルスタインショウについても補助金を削減することにより、イベントの開催自体が困難になる。
	<b>なし</b>		

事業名：次世代就農定着サポート事業

【事業番号 1002】  
農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

就農予定者及び若手農業者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	50歳未満農業者数（令和元年度より45→50歳未満へ拡大）	人	188	188	247	247
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

農業次世代人材投資資金（経営開始型）を支給し、就農直後の経営を支援する。  
・江別市農業次世代人材投資事業（経営開始型）交付要領

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	農業次世代人材投資資金支給件数	件	8	10	11	15
活動指標 2	50歳未満の新規就農相談件数	件	5	4	4	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

50歳未満農業者の増加（令和元年度より年齢要件を45歳未満から50歳未満に拡大）

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	50歳未満農業者の割合	%	20.3	20.3	26.7	26.7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	12,000	16,500	17,524	23,250
正職員人件費 (B)		千円	3,047	3,051	3,075	3,096
総事業費 (A+B)		千円	15,047	19,551	20,599	26,346

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	国の実施要綱に基づく農業次世代人材投資資金（経営開始型）の支給	農業次世代人材投資資金（経営開始型）	17,524千円

<b>事業開始背景</b>
<p>農業者の高齢化が進んでおり、持続可能な地域農業を実現するためには若い就農者の増加・定着が必要である。</p>
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<p>平成24年度から国の実施要領に基づく青年就農給付金（経営開始型）制度が運用開始された。対象の範囲や所得要件など毎年度内容が見直しされている状況にあり、平成29年度では、農業次世代人材投資事業（経営開始型）として見直し、令和元年度には、年齢要件が45歳未満から50歳未満に引き上げられた。今後も実態に即した改正が見込まれる。</p>

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">新規就農者は、定着しており、今後も微増の予定である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	新規就農者は、定着しており、今後も微増の予定である。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				新規就農者は、定着しており、今後も微増の予定である。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">新規就農者を定着させるためには、有効な事業であるが、国の制度であることから動向を注視する必要がある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	新規就農者を定着させるためには、有効な事業であるが、国の制度であることから動向を注視する必要がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				新規就農者を定着させるためには、有効な事業であるが、国の制度であることから動向を注視する必要がある。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2">農業次世代人材投資事業は、国の制度に基づいているため、コストを削減することは困難である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	農業次世代人材投資事業は、国の制度に基づいているため、コストを削減することは困難である。	なし	
ある	理由 根拠	▶				農業次世代人材投資事業は、国の制度に基づいているため、コストを削減することは困難である。	
なし							

事業名：農村環境改善センター維持管理費 農業振興課 農政係

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		具体的施策				
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農村環境改善センター

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

農村環境改善センターの維持・管理に要する経費

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	維持・管理経費	千円	3,931	3,056	2,598	2,522
活動指標 2	開設日数	日	331	329	326	329

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農村環境改善センターが適切に運営管理される。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	利用者数	人	2,816	2,923	1,875	2,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	3,931	3,056	2,598	2,522
正職員人件費 (B)		千円	1,143	1,144	1,153	1,161
総事業費 (A+B)		千円	5,074	4,200	3,751	3,683

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	農村環境改善センターの管理運営、維持修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善センター職員給与 799千円</li> <li>光熱水費等 750千円</li> <li>消防設備保守、浄化槽管理料等 516千円</li> <li>施設等修繕費 441千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

農業者のための農業経営の改善、農村生活の向上及び健康の増進を図るため、江北地区及び野幌地区に農村総合整備モデル事業により建設した。

**事業を取り巻く環境変化**

開設から約40年間が経過する中で、施設全体が老朽化しており、維持管理に問題が生じている。江北地区の農村環境改善センターについては、平成29年4月にオープンした都市と農村の交流センター（えみくる）に機能を移転した。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	施設の老朽化等の課題がある中、ある程度の経費減を図りながら、一定の利用者数は確保できている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	施設が老朽化しているため、施設利用者に支障を来すことのないよう計画的な維持補修等に努めることで、施設の利便性が図れ、成果を向上させることは可能であるとする。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由根拠	施設の老朽化が進んでおり、大規模改修などを視野に入れながら検討しなければならない。
	なし		

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター管理運営事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業	戦略						
取組の基本方針	01 都市型農業の推進	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

花き・野菜栽培技術指導センター

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設の運営管理を指定管理者に委託する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	9,970	9,479	9,567	9,655
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理運営を適切に行い、花き・野菜の生産振興の拠点機能を発揮させる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	9,970	9,479	9,567	9,655
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,306	2,322
総事業費 (A+B)		千円	12,255	11,767	11,873	11,977

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	施設の運営管理を指定管理者に委託する。	指定管理料	9,567千円

事業開始背景
花き栽培に適した気象条件や流通条件を活かした特色ある都市近郊型農業を目指して、花きの研究開発や実証展示の拠点として設置した。
事業を取り巻く環境変化
平成18年度から指定管理者制度を導入。

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">花き・野菜の生産振興の拠点としての施設機能が発揮されている。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	花き・野菜の生産振興の拠点としての施設機能が発揮されている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				花き・野菜の生産振興の拠点としての施設機能が発揮されている。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">適切な施設の管理運営により、現在の施設を最大限稼働させているため、成果が向上する余地は少ない。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	適切な施設の管理運営により、現在の施設を最大限稼働させているため、成果が向上する余地は少ない。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				適切な施設の管理運営により、現在の施設を最大限稼働させているため、成果が向上する余地は少ない。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="2">施設の維持管理に係る必要最低限のコストで運営されているため、これ以上のコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	施設の維持管理に係る必要最低限のコストで運営されているため、これ以上のコスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	▶				施設の維持管理に係る必要最低限のコストで運営されているため、これ以上のコスト削減は難しい。	
なし							

事業名：家畜排せつ物処理施設設置貸付事業

【事業番号 5035】

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		具体的施策				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内畜産農家

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	畜産農家戸数	戸	63	61	60	0
対象指標 2	家畜排せつ物法適用農家戸数（一定規模以上の農家）	戸	52	52	52	0

手段（事務事業の内容、手法）

江別市家畜排せつ物処理施設設置資金貸付要領に基づき、江別市家畜排せつ物処理施設設置資金（江別市農業振興資金特認資金）を設置し、融資機関（農協）が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減（無利子貸付）を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	新規貸付件数	件	0	0	0	0
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

畜産農家の資金不足による家畜排せつ物処理施設の未整備を解消し、家畜排せつ物法に基づく適正な管理及び利用をすすめ、地域の環境保全、循環型農業の確立を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	家畜排せつ物処理施設整備農家戸数	戸	52	52	52	0
成果指標 2	家畜排せつ物処理施設整備率	%	100	100	100	0

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	660	440	220	0
正職員人件費 (B)		千円	381	381	384	0
総事業費 (A+B)		千円	1,041	821	604	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	江別市家畜排せつ物処理施設設置資金を設置し、融資機関が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	・ 無利子預託金 220千円	

**事業開始背景**

平成11年に家畜排せつ物法が制定され、平成16年11月の施行までに一定規模以上の畜産農家に対し、同法に定める管理基準に適合した排せつ物処理施設の設置が義務付けられた。当市においては国の補助事業を活用して施設整備をすすめてきたが、未整備農家においては資金不足を理由に挙げている者が多い。この解決のため、無利子の資金を設置し、施設整備を促進する。

**事業を取り巻く環境変化**

現在の施設整備率は100%であり、貸付先1件については平成31年度（令和元年度）で償還期間が満了する。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	➔	法律上、環境に配慮した家畜排せつ物の処理を実施することとなっており、各畜産農家の処理意識は向上している。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	➔	畜産農家戸数の近年の減少傾向に加え、家畜排せつ物法適用農家における家畜排せつ物処理整備率は既に100%であることから、更なる成果向上は期待できない。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由根拠	➔	平成31年度（令和元年度）で償還期間満了につき、事業終了。
	なし			

事業名：排水路維持管理経費

【事業番号 5038】  
農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業用排水路

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	排水路の数	条	59	59	59	59
対象指標 2	排水路延長	m	68,730	68,730	68,730	68,730

手段（事務事業の内容、手法）

江別市土地基盤整備事業規則に基づき床浚いは事業費の2/3、草刈は事業費の1/2を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,836	3,522	2,054	2,892
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農業用排水路の排水能力を維持する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	排水路床浚い延長	m	935	1,265	1,100	1,580
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	1,836	3,665	2,054	2,931
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	2,306	2,322
総事業費 (A+B)		千円	3,360	5,190	4,360	5,253

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	・第9次江別市排水路改修5ヶ年計画に基づき補助金を支出	・農事組合への補助金 2,054千円	

**事業開始背景**

江別市の農業用排水路は昭和30年代を中心に造成された素堀水路が多く、経年劣化が著しいため、定期的に床浚い等の維持管理作業を行わなければならないことから、昭和51年に本事業を開始した。5年単位で計画を作成し、現在は第9次（平成29年度～令和3年度）である。

**事業を取り巻く環境変化**

平成14年度～18年度の計画は、江別市の財政状況を考慮し、予算額の1,000万円の範囲内で実施、平成17年度から不法投棄対策に係る予算を計上した。なお、本事業実施地区のうち7地区は、平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に移行し、その中で維持管理作業を実施することとなった。その後、他地区でも多面的機能支払交付金（旧農地・水・環境保全向上対策）による維持管理作業が行われるようになったため、平成27年度から本事業実施地区は2地区（角山・協和）となった。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
5ヶ年計画に基づき毎年ヒアリングを実施し、予算内で最も効率が上がるように路線を選定していることから、期待どおりの成果が上がっている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
すでに予算内で最も効率が上がるように路線を選定し、実施していることから、更なる成果向上の余地はない。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
地元の工夫で、床浚いは安価な時期に発注し、作業への参加や土砂置き場の提供等を行っている。また、草刈りも直営施行で行うなど地元の負担は大きく、高齢者が多い農村地区の現状を考慮するとコスト削減のためにこれ以上の負担増は厳しい。		

事業名：江別麦の会支援事業

【事業番号 6054】  
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別麦の会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	会員数	人	45	40	38	40
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別麦の会を円滑に運営する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	視察等対応件数	件	2	4	2	2
活動指標 2	会合回数	回	1	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産、加工、流通、消費、研究などに関わる各分野の交流を深めることで、麦の生産振興を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	事業数	回	0	0	1	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	762	1,907	2,306	2,322
総事業費 (A+B)		千円	762	1,907	2,306	2,322

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別ブランド研修会・意見交換会</li> <li>・「江別麦の会」に関する取材対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費事業</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
平成10年の「焼き菓子コンペ」実行委員会により、地元産小麦の生産・消費振興活動を継続するため江別麦の会が結成された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
江別小麦をめぐる活動が全国的に認められ注目されている。また、江別経済ネットワークなど他団体との交流が活発。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;"> <p>会との交流等により、栽培の難しい「ハルユタカ」の生産技術が確立され、高い需要に対し一定程度の供給ができるようになったこと、また、農工商連携による「江別小麦めん」の商品開発等が評価を得ており、「麦の里えべつ」を広くPRしている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>会との交流等により、栽培の難しい「ハルユタカ」の生産技術が確立され、高い需要に対し一定程度の供給ができるようになったこと、また、農工商連携による「江別小麦めん」の商品開発等が評価を得ており、「麦の里えべつ」を広くPRしている。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>会との交流等により、栽培の難しい「ハルユタカ」の生産技術が確立され、高い需要に対し一定程度の供給ができるようになったこと、また、農工商連携による「江別小麦めん」の商品開発等が評価を得ており、「麦の里えべつ」を広くPRしている。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;"> <p>これまでも会の活動として各分野との交流を通じて、生産振興を図ってきた。今後も会の活動を通じて、意見交換等の交流を深め、生産振興を図っていく。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>これまでも会の活動として各分野との交流を通じて、生産振興を図ってきた。今後も会の活動を通じて、意見交換等の交流を深め、生産振興を図っていく。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>これまでも会の活動として各分野との交流を通じて、生産振興を図ってきた。今後も会の活動を通じて、意見交換等の交流を深め、生産振興を図っていく。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;"> <p>本事業は、会の運営及び事業による人的交流の活性化を目的としており、人件費削減の考え方になじまない。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>本事業は、会の運営及び事業による人的交流の活性化を目的としており、人件費削減の考え方になじまない。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>本事業は、会の運営及び事業による人的交流の活性化を目的としており、人件費削減の考え方になじまない。</p>				
なし						

事業名：江別の米で酒を造ろう会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

酒米生産者及び市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	酒造好適米「彗星」作付農家戸数	戸	4	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別産米を原料とした地酒を委託方式により醸造するため、生産・流通・販売に関する企画立案を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	会合回数	回	1	2	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市内で生産された米を使用して、地酒「瑞穂のしずく」を造り、地酒のPRをするとともに、江別産米の消費を拡大する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	「瑞穂のしずく」販売量	リットル	10,223	10,195	9,793	14,080
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	1,537	2,322
総事業費 (A+B)		千円	2,285	2,288	1,537	2,322

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲刈り体験&amp;酒蔵見学ツアーの開催</li> <li>・総会の開催</li> <li>・「瑞穂のしずく」に関する取材対応</li> </ul>	人件費事業	

<b>事業開始背景</b>
市内の米消費拡大を目的として地酒を開発するため「江別の米で酒を造ろう会」が発足した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
平成21年からは「瑞穂のしずく」の酒粕を使用した商品も販売されているほか、平成27年からは「瑞穂のしずく」の無濾過生原酒を販売している。 近年の若者の日本酒離れによる消費の落ち込みに加え、令和2年からは消費増税や新型コロナウイルスの感染拡大防止による飲食店需要の落ち込みが起きている。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>価格改定、消費増税、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う消費の落ち込み、新酒発表会の中止等PRが出来なかったことが影響し、販売量は伸びなかった。</p>		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>全国的な飲酒の機会の減少やイベント自粛等の逆風が強く、短期的には消費量を拡大する余地は小さいが、「瑞穂のしずく」をPRしていくためには引き続き支援が必要な状況にある。</p>		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>会員の役割分担を明確にした必要最低限の人員費となっている。</p>		

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター改修事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

花き・野菜栽培技術指導センター

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設設備の老朽化に対応するため、改修を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	改修費	千円	2,980	0	0	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設本来の機能（育苗）を持続・発揮させて、生産者へ高品質苗の安定供給を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	改修箇所数	箇所	2	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	2,980	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	381	0	0	0
総事業費 (A+B)		千円	3,361	0	0	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	施設設備の改修	令和元年度は改修工事なし	

**事業開始背景**

平成5年設立より20年以上が経過したため、育苗に必要な設備の経年劣化を補修し、安定的に苗の供給を行う。

**事業を取り巻く環境変化**

平成12年度から道央農協から受託し、野菜苗育苗を中心とする育苗事業を開始した。この野菜苗の育苗事業受託は現在も継続し実施している。  
平成15年度から一般市民に花き・野菜苗を販売するガーデニングフェアを開催している。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">施設設備の老朽化に対応するため、ハウス年次別張替計画に基づいた改修工事を行う必要がある。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td style="padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	施設設備の老朽化に対応するため、ハウス年次別張替計画に基づいた改修工事を行う必要がある。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	施設設備の老朽化に対応するため、ハウス年次別張替計画に基づいた改修工事を行う必要がある。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">施設の長寿命化を図る必要最低限の改修工事である。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	施設の長寿命化を図る必要最低限の改修工事である。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	施設の長寿命化を図る必要最低限の改修工事である。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px; vertical-align: top;">施設の長寿命化を図る必要最低限の改修工事である。</td> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <td style="padding: 5px;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	施設の長寿命化を図る必要最低限の改修工事である。	なし	
ある	理由 根拠	施設の長寿命化を図る必要最低限の改修工事である。				
なし						

事業名：日本型直接支払交付金

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農地・農業施設の保全等のために活動する組織

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	活動組織数	団体	9	9	9	9
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

活動組織に対して江別市多面的機能支払交付金事業交付要領に基づき交付金を支払う。  
 なお、国費分を含めた道費として交付金総額の75%が市に交付されるため、市の負担分は25%である。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	交付金	千円	188,918	190,145	189,312	189,164
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域の共同活動を支援することにより、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持、発揮される。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	対象農用地面積	ha	5,771	5,898	5,898	5,899
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	189,045	190,296	189,510	189,288
正職員人件費 (B)		千円	5,714	5,720	5,765	5,806
総事業費 (A+B)		千円	194,759	196,016	195,275	195,094

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して交付金を支出	・多面的機能支払交付金事業交付金	189,312千円
		・保全情報記録システム使用料・回線費	122千円
		・対象農用地面積減少に伴う返還	76千円

**事業開始背景**

農業の持続的発展と農業施設の持つ農業以外の役割である多面的機能の発揮を図るためには、基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進する必要があるが、過疎化・高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、適切な資源の保全管理が困難となってきている。本事業は地域農業者を中心とした活動組織による農地、農業施設の保全管理を進めるだけでなく、非農業者の参画により新たな共同活動の仕組みをつくり、生産資源はもとより環境資源の保全活動を推進していくことを目的に開始された。

**事業を取り巻く環境変化**

農村地域の過疎化、高齢化により地域の農業者だけでは農業基盤施設の維持をしていくことが難しい状況になっていることから、非農業者の参画など地域だけではない新たな農村コミュニティの形成を目指していく必要がある。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>毎年一定額を支援することで、活動組織としての活動が安定的に行われ、その中で経験を重ねてきたことにより、生産・環境資源の保全向上が年々図られてきている。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>現在ある9つの活動組織が活動することにより、一定程度の維持管理及び環境整備の向上が期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>事業費（交付金）は、対象農用地面積に単価を乗じたものとなっていることから、面積が変わらなければ、事業費も変わらない。よって、コストを削減することはできない。</p>		

事業名：6次産業化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	924	924	924
対象指標 2	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510

手段（事務事業の内容、手法）

地域おこし協力隊による「都市と農村の交流センター」内に設置されたテストキッチンの操作指導等により、農業者の6次産業化を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	協力隊員数	人	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

6次産業化の推進及びテストキッチンの利用促進を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	テストキッチン利用者数	人	356	278	214	230
成果指標 2	交流センター利用者数	人	31,840	23,595	26,718	27,300

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	1,649	2,369	2,367	2,562
正職員人件費 (B)		千円	762	763	769	774
総事業費 (A+B)		千円	2,411	3,132	3,136	3,336

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	テストキッチンの操作指導等による6次産業化の支援	・地域おこし協力隊報酬	2,194千円
		・活動用車両維持管理費	140千円

<b>事業開始背景</b>
食の安心・安全への関心が高まる中で、6次産業化に取り組む農業者を支援し、新たな担い手の育成について支援していくことを目的に事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
江別の食と農の魅力発信や地域イベントなどを通して都市部と農村地区との交流を図るため、平成29年4月に「都市と農村の交流センターえみくる」が開設した。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">農畜産物加工品の新商品数及び既存商品の改良数は増加しているため、一定の成果はあると考える。ただし、テストキッチン利用者数については、今後さらに利用者を増やすため、情報発信等を行う。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	農畜産物加工品の新商品数及び既存商品の改良数は増加しているため、一定の成果はあると考える。ただし、テストキッチン利用者数については、今後さらに利用者を増やすため、情報発信等を行う。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				農畜産物加工品の新商品数及び既存商品の改良数は増加しているため、一定の成果はあると考える。ただし、テストキッチン利用者数については、今後さらに利用者を増やすため、情報発信等を行う。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3">テストキッチンのPR及び操作指導方法等の変更により、成果が向上する余地はある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	テストキッチンのPR及び操作指導方法等の変更により、成果が向上する余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				テストキッチンのPR及び操作指導方法等の変更により、成果が向上する余地はある。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2">地域おこし協力隊の活動経費のみで事業を実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	地域おこし協力隊の活動経費のみで事業を実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	▶				地域おこし協力隊の活動経費のみで事業を実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。	
なし							

事業名：都市と農村の交流センター管理運営事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

都市と農村の交流センター

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設の管理運営を指定管理者に委託する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	21,600	21,816	22,018	22,220
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理及び運営を適切に行い、施設の効用を発揮させる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	利用者数	人	31,840	23,595	26,718	27,300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	21,797	22,190	22,150	22,420
正職員人件費 (B)		千円	2,285	2,288	2,306	2,322
総事業費 (A+B)		千円	24,082	24,478	24,456	24,742

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	22,018千円
		施設等修繕費	132千円

**事業開始背景**

農村地域の中でも市街地からのアクセスが容易な旧江北中学校跡地を活用し、市内の農業者をはじめ多様な人的資源のネットワークにより、食と農の魅力を発信し、都市部の住民との交流の輪を市内全域、さらには札幌圏へと広げることを目指し、「食」と「農」により学びと活力を生み出す、新たな体験・交流拠点として設置した。

**事業を取り巻く環境変化**

平成29年度より指定管理者制度を導入。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	

事業名：江別経済ネットワーク事業

【事業番号 62】  
 商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

大学、研究機関、企業などから参加する経済ネットワークの会員

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標1	経済ネットワーク会員数	人	195	190	195	200
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

例会(講演、研究成果発表、情報交換等)の開催

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標1	経済ネットワーク例会開催回数	回	4	3	2	2
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

例会などを通して参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標1	例会参加者数	人	167	187	49	50
成果指標2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	93	59	22	70
正職員人件費(B)		千円	3,809	3,814	3,844	3,871
総事業費(A+B)		千円	3,902	3,873	3,866	3,941

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別経済ネットワーク例会の開催</li> <li>セラミックス交流会の活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別経済ネットワーク例会会場費 12千円</li> <li>セラミックス交流会活動経費 10千円</li> </ul>

**事業開始背景**

大学や研究機関などが集積する環境を活かし、大学・研究機関・企業などからの参加者間の連携を進めることによって交流や共同研究を促し、新規産業の創出や既存企業の高度化などを図り、新製品の開発や雇用拡大につなげることを目的としている。

**事業を取り巻く環境変化**

平成14年の事業開始から、江別ブランド事典や江別小麦めんなど新しい取組が生まれた。近年は江別経済ネットワークをきっかけとした会員同士の交流が定着しており、同ネットワークを介さない取組みにもつながっている。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	当初予定していた例会が、新型コロナウイルスの影響により開催できなくなったため、例会開催回数と例会参加者数が減少した。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	平成31年度実績は新型コロナウイルスによる影響により成果指標が下がっているが、平成30年度までは成果指標が概ね向上しているため、コロナウイルスの影響がなくなることで成果が向上する余地はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	例会の実施にあたっては、必要最低限のもの以外を受益者負担でまかっている。また、人件費については、最小の人数で行っており、削減は難しい。
	なし		

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市において立地等(新規立地・増設・設備更新)を検討している企業

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1 補助金交付企業数	社	8	9	11	12
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金を交付  
 対象：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設  
 ⑦コールセンター  
 種類：①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額を交付  
 ②雇用補助金…新規雇用者に対して、市内居住者は20万円(障がい者は20万円加算)、市外居住者は10万円を交付  
 ③下水道使用料補助金…毎月当たり500mを超える部分の年間使用料の1/2の額を交付  
 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額を交付

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1 補助金額	千円	87,749	78,934	65,302	66,465
活動指標 2					

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市内へ企業が立地する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1 補助金認定件数(累計)	件	30	32	34	36
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)	千円	87,749	78,934	65,302	66,465
正職員人件費(B)	千円	3,809	3,814	3,844	3,871
総事業費(A+B)	千円	91,558	82,748	69,146	70,336

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
元年度 江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき補助金を交付	立地した企業への補助金 65,302千円

**事業開始背景**

市民の雇用機会の拡大と税収増及び地域経済の発展・活性化を図るための市内への企業立地を促進すべく、事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

地方が少子高齢化社会に対応しながら、持続可能で強い経済力を持った自主自立のまちづくりを進めるためには、企業等の立地による税収増や人口増を図ることが重要である。  
 このような環境の中、新規立地の決め手の1つとなる助成制度は、目標とする企業のニーズを取り入れることが求められている。当市では食関連産業の誘致を進めていることから、他産業と比した補助の投資要件の緩和や下水道使用に対する補助の新設などを行い、平成26年度から施行した。  
 企業ニーズは社会情勢により変化するため、随時見直しを行っていく必要がある。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	令和元年度は新たに2企業に対して補助金を交付し、計29人の雇用が生まれおり成果は向上している。 交付決定内容は、製造加工施設（食関連産業）の新設1件と物流関連施設の増設が1件であった。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	令和元年度は、工業用地や物流施設用地などに関する問い合わせが36件（うち食関連産業は7件）あったことから、今後も成果の向上が見込まれる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由根拠	立地等補助金の交付は、近隣市町村も企業進出時や事業拡大時の支援のひとつとしており、江別市よりも交付額が多い市町村も少なくない。 交付額を削減すると、企業が進出候補先自治体の支援状況を比較した際に、江別市が候補から外れる可能性があるため、コスト削減余地はない。
	なし		

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業	戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

企業・事業所

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1 企業・事業所数	社	367,999	357,754	348,322	357,754
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

- ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集
- ・企業、産業支援機関等へのPR活動
- ・立地を検討している企業への情報提供、立地支援等

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1 企業との接触数(訪問、来訪、イベント等)	社	169	190	197	100
活動指標 2 誘致関係機関との接触数(官公庁、団体)	社	25	30	27	10

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

道内外企業・事業所を江別市へ誘致する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1 立地企業・事業所数(土地・建物の賃借による操業を含む)	社	4	5	1	4
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)	千円	1,576	1,794	567	1,416
正職員人件費(B)	千円	15,236	11,441	11,531	11,612
総事業費(A+B)	千円	16,812	13,235	12,098	13,028

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問</li> <li>・首都圏等で開催する企業誘致イベントへの出展</li> <li>・パンフレット等による情報発信</li> <li>・企業誘致に係る情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問、イベント出展に係る旅費 188千円</li> <li>・企業信用調査 369千円</li> </ul>

**事業開始背景**

新たな企業が市内に進出することで、雇用及び税収の増加や市内経済の活性化につながることから、企業に対し江別市が魅力ある場所であることを積極的にPRすることでその実現につなげるため、本事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

人口減少に悩む自治体間で誘致競争は厳しさを増しているが、当市の分譲地は残り1区画となっている。RTNパーク第1期計画の未造成地は約6.2haあり、今後の用地の確保が検討課題である。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                 企業誘致活動は、実施から成果を生むまで長時間を要することから単年度の数値にとられる必要はないものと考え、一方で、新規立地等に適した準工業地域、工業地域、工業専用地域に市有地（分譲地）や譲渡可能な民有地が少ない中で、年間数社の新規立地企業があることから、少なからず成果は出ている。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	企業誘致活動は、実施から成果を生むまで長時間を要することから単年度の数値にとられる必要はないものと考え、一方で、新規立地等に適した準工業地域、工業地域、工業専用地域に市有地（分譲地）や譲渡可能な民有地が少ない中で、年間数社の新規立地企業があることから、少なからず成果は出ている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	企業誘致活動は、実施から成果を生むまで長時間を要することから単年度の数値にとられる必要はないものと考え、一方で、新規立地等に適した準工業地域、工業地域、工業専用地域に市有地（分譲地）や譲渡可能な民有地が少ない中で、年間数社の新規立地企業があることから、少なからず成果は出ている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                 職員の誘致対応能力や情報収集能力の向上により、小さいながら成果向上の余地がある。 抜本的には、企業が立地できる用地を確保しなければ成果の向上は難しいが、RTNパーク内の未造成地の整備について具体的な手段等を検討し、工場用地とすることで成果向上が見込まれる。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	職員の誘致対応能力や情報収集能力の向上により、小さいながら成果向上の余地がある。 抜本的には、企業が立地できる用地を確保しなければ成果の向上は難しいが、RTNパーク内の未造成地の整備について具体的な手段等を検討し、工場用地とすることで成果向上が見込まれる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	職員の誘致対応能力や情報収集能力の向上により、小さいながら成果向上の余地がある。 抜本的には、企業が立地できる用地を確保しなければ成果の向上は難しいが、RTNパーク内の未造成地の整備について具体的な手段等を検討し、工場用地とすることで成果向上が見込まれる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">                 過去にスクラップアンドビルドにより費用対効果が少ないと判断した事業を廃止しており、現在大きなコスト削減の余地はない。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	過去にスクラップアンドビルドにより費用対効果が少ないと判断した事業を廃止しており、現在大きなコスト削減の余地はない。	なし	
ある	理由 根拠	過去にスクラップアンドビルドにより費用対効果が少ないと判断した事業を廃止しており、現在大きなコスト削減の余地はない。				
なし						

事業名：起業化促進支援事業

【事業番号 66】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業	戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	令和元年度	区分1	廃止	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内で事業を行おうとしている人又は既に行っている人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	119,510	0
対象指標 2	市内事業所数	所	3,468	3,351	3,351	0

手段(事務事業の内容、手法)

- ・中小企業診断士による事業計画等に対する助言
- ・起業に必要な知識を身につけられるセミナー等の開催
- ・入居企業が応分で支払う共用部賃料を市が負担することで入居企業の賃料を軽減

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	起業に関する相談件数	件	24	23	24	0
活動指標 2	アンビシャスプラザ 新規入居件数	件	0	1	0	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

場所やノウハウの提供、相談業務によって起業や新たな事業展開が増える。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	新規起業数	社	5	5	3	0
成果指標 2	アンビシャスプラザ 入居区画数	区画	6	7	5	0

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	3,173	3,046	3,358	0
正職員人件費(B)		千円	7,618	3,814	7,687	0
総事業費(A+B)		千円	10,791	6,860	11,045	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士(起業化促進支援相談員)による事業計画作成等に対する助言</li> <li>・起業化促進支援セミナー、実践創業塾の開催</li> <li>・元町アンビシャスプラザ共用部の賃借</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業化促進支援相談員への報酬 336千円</li> <li>・実践創業塾等の開催経費 871千円</li> <li>・元町アンビシャスプラザ共用部賃借料 2,090千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
地域経済活性化を図るため、起業家の発掘と育成を通して、江別らしい新たなブランドづくりのきっかけの場となるように事業を計画し、開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
江別経済ネットワークや大学・研究機関等の連携体制を活用し、起業家を発掘・育成するための環境が整っており、各種講座やセミナー等を通じてPRできる状況にある。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">市の広報誌やホームページでPRや勧誘に努めたことで、計画どおりに成果が上がっている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	市の広報誌やホームページでPRや勧誘に努めたことで、計画どおりに成果が上がっている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	市の広報誌やホームページでPRや勧誘に努めたことで、計画どおりに成果が上がっている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">相談者やセミナー参加者が起業するには一定の期間を要するため、無料相談やセミナーの開催といった起業支援を継続することで、今後の成果向上が期待できる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	相談者やセミナー参加者が起業するには一定の期間を要するため、無料相談やセミナーの開催といった起業支援を継続することで、今後の成果向上が期待できる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	相談者やセミナー参加者が起業するには一定の期間を要するため、無料相談やセミナーの開催といった起業支援を継続することで、今後の成果向上が期待できる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">相談業務に係る報酬は、人材確保の観点からコストの削減を図ることは難しい。また、アンビシャスプラザの供用部の賃借料についても、貸主との協議により平成30年度から賃借料の削減を行っているため、これ以上のコスト削減は困難である。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	相談業務に係る報酬は、人材確保の観点からコストの削減を図ることは難しい。また、アンビシャスプラザの供用部の賃借料についても、貸主との協議により平成30年度から賃借料の削減を行っているため、これ以上のコスト削減は困難である。	なし	
ある	理由 根拠	相談業務に係る報酬は、人材確保の観点からコストの削減を図ることは難しい。また、アンビシャスプラザの供用部の賃借料についても、貸主との協議により平成30年度から賃借料の削減を行っているため、これ以上のコスト削減は困難である。				
なし						

事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ①中小企業団体
- ②中小企業者
- ③商店街団体
- ④個人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	中小企業所数	所	3,468	3,351	3,351	3,351
対象指標 2	商店街組合数	件	7	7	7	7

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。
- ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備(ハード事業)や、イベント、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等(ソフト事業)に対する補助メニューがある。
- ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。
- ・事業終了後は報告書を提出する。
- ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10~7/10の範囲内(限度額400~8,000千円)で補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	981	558	1,421	2,330
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

商店街の景観整備やイベント、新商品開発、人材育成等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力向上を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	補助金の活用件数(ハード事業)	件	1	0	0	2
成果指標 2	補助金の活用件数(ソフト事業)	件	9	4	10	9

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	981	558	1,421	2,579
正職員人件費(B)		千円	3,047	3,051	5,381	7,741
総事業費(A+B)		千円	4,028	3,609	6,802	10,320

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う人材育成やイベント事業に対して補助する。</li> <li>・新たな市場の開拓や販路拡大のため、道外物産展への参加旅費に対して補助する。</li> <li>・インターネットやチラシ等の情報メディアを利用して商店街の情報などを発信していく事業に対して補助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業活性化事業補助金 1,421千円</li> </ul>

**事業開始背景**

大型店の出店、価格破壊等に伴う商業環境の変化により、商店街を中心とする中心市街地が空洞化するなど地域の核である商店街にとっては厳しい経済状況が続いており、活性化するためのハード、ソフトの事業が必要なため。

**事業を取り巻く環境変化**

大型複合商業施設の相次ぐ開業により、商店街を取り巻く環境は危機的な状況が続いていることから、産業構造の変化や消費者ニーズの多様化等に対応しうる地場産業を育成し、地域経済の活性化を促すため、その力となる人材育成、製品・技術開発等を支援しなければならない。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

		<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	市の補助金を活用したイベント開催数は横ばいであるが、見本市等への出展事業、情報メディアを利用した共同情報発信事業については新規補助申請が行なわれるなど、活用による成果が見込まれる。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
		<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	イベントは複数年実施し、定着させることにより成果は上がると考えられる。また、本補助金を利用した販路拡大の需要は増えていくと思われる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
		<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？</b>	
コスト	ある	理由 根拠	ソフト系事業については、毎年一定の予算額で設定し、申請に対して支援するため、コスト削減余地は少ない。
	なし		

事業名：江別商工会議所補助金

【事業番号 76】  
 商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

商工会議所(中小企業相談所)

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	商工会議所	所	1	1	1	1
対象指標 2	商工会議所会員数	所	850	846	850	846

手段(事務事業の内容、手法)

- ・江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。
- ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別商工会議所補助金交付要領」に基づき、江別商工会議所に対し、中小企業相談所運営費の1/2、関係団体運営費の1/2を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	8,575	8,575	8,575	8,575
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

公平な機関として、中小企業者の成長発展を促進するための経営相談等のサービスを提供する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	経営指導件数	件	853	765	606	765
成果指標 2	相談件数	件	2,396	2,237	2,176	2,237

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	8,575	8,575	8,575	8,575
正職員人件費(B)		千円	2,285	2,288	1,537	1,548
総事業費(A+B)		千円	10,860	10,863	10,112	10,123

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務について補助する。	・補助金	8,575千円

<b>事業開始背景</b>
地域経済の発展、商工業者の経営安定を図るべく商工会議所の果たす役割は重要であり、経済状況の変化に的確に対処すべく経済状況分析等中小企業者全般に関わる事業に対して補助する。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
長引く景気の低迷により経営環境、金融環境の悪化が続いており、特に信用力の乏しい中小企業においては厳しい様相を呈している。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている
	<b>どちらかといえば上がっている</b>
	上がっていない
理由根拠	<p>経営指導件数、相談件数は減少しているものの、新規加入により会員数は増加した。</p> <p>10月の消費税増税に伴う相談対応やセミナーには多数の企業が参加しており、現状の厳しい経済環境の中では、指導・相談の重要性は依然として高いものとする。</p>
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大
	<b>成果向上余地 中</b>
	成果向上余地 小
理由根拠	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う経営悪化等、中小企業を取り巻く環境の変化に対応したセミナー開催などにより、成果が向上する可能性がある。</p>
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
コスト	ある
	<b>なし</b>
理由根拠	<p>北海道からの補助金もあるが、十分な運営を行えるものではなく、これ以上の補助金の削減は業務の停滞につながり、中小企業者へ直接影響を与えることとなる。</p>

事業名：江別市商店街振興組合連合会補助金

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市商店街振興組合連合会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	連合会加入組合等の数	組合	7	7	5	7
対象指標 2	連合会加入組合傘下の商店等の数	所	82	77	68	77

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」に基づき、江別市商店街振興組合連合会の指導事業費の1/2を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	800	800	800	800
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

商店街の組織化、近代化を推進するとともに、商店街の振興発展と連合会の運営の円滑化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	会員への事務処理等指導件数	件	7	7	7	7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	800	800	800	800
正職員人件費(B)		千円	762	763	769	774
総事業費(A+B)		千円	1,562	1,563	1,569	1,574

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	江別市商店街振興組合連合会指導事業に対し補助金を支出	江別市商店街振興組合連合会指導事業への補助金 800千円	

<b>事業開始背景</b>
商業振興、商店街の活性化、街づくりのための各種事業を行う江別市商店街振興組合連合会を積極的に支援する。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
長引く不況や集客力の格差、大型店の影響などにより、連合会加入参加の商店数が減少している。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている
	<b>どちらかといえば上がっている</b>
	上がっていない
理由根拠	<p>▲</p> <p>厳しい経済状況や大型店進出により、商店街を取り巻く状況は厳しくなってくるため、江別市商店街振興組合連合会の役割は一層重要性が増すものと思われる。</p>
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大
	<b>成果向上余地 中</b>
	成果向上余地 小
理由根拠	<p>▲</p> <p>本事業単独ではなく、他の事業との連動により、商店街振興につながる成果向上の余地はある。</p>
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
コスト	ある
	<b>なし</b>
理由根拠	<p>▲</p> <p>北海道商店街振興組合連合会と江別市からの補助金が収入の4割を占めている経営基盤の弱い団体であり、市の補助金削減は連合会の運営に大きな影響を及ぼすものである。しかし、江別市商店街振興組合連合会の会員数も年々減少していることから、補助金の内容について整理を行う必要がある。</p>

事業名：シルバー人材センター事業補助金 商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

高齢者の就業を支援する団体

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	高齢者の就業を支援する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「公益社団法人江別市シルバー人材センター補助金交付要領」に基づきシルバー人材センターに対し、同センターの管理運営費(人件費・事務運営費等)を補助する。補助額は国の補助基準に基づき決定する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	23,541	23,739	23,339	23,339
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

高齢者の経験と技術を生かした就業の場を提供する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	(社)江別市シルバー人材センター受注事業費	千円	221,484	220,600	207,010	220,600
成果指標 2	(社)江別市シルバー人材センター延就業者人数	人日	47,253	46,271	43,308	46,271

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	23,541	23,739	23,339	23,339
正職員人件費(B)		千円	762	763	769	774
総事業費(A+B)		千円	24,303	24,502	24,108	24,113

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	シルバー人材センターへの補助	補助金	23,339千円

<b>事業開始背景</b>
高齢社会における高齢者への就業機会の提供と社会活動の創造の重要性
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
国の補助基準に基づき市の補助額を決定している。平成27年度より派遣実績に対する補助項目が追加されたが、江別市シルバー人材センターはそれ以前より派遣事業に力を入れており、補助額が増額した。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p style="text-align: right;">受注事業費、延就業人数ともに減少しているが、一定水準を維持しており、今後も請負可能な契約数を維持することが見込まれる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p style="text-align: right;">生産年齢人口の減少により、市内企業における労働力不足も生じており、新規開拓の強化等により就業機会の拡大を実現する余地がある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p style="text-align: right;">国のセンターへの補助は市の補助額が上限となっており、市が補助額を削減すると国の補助も減少することから、経営に対する悪影響が大きい。</p>		

事業名：勤労者研修センター管理運営事業 商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

勤労者研修センター

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	9,169	9,132	9,194	9,290
活動指標 2	開館日数	日	293	296	288	293

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

勤労者の研修等を実施するため、施設の維持管理・運営を適切に行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	利用者数	人	12,381	12,910	13,488	12,910
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	9,169	9,132	9,194	9,290
正職員人件費(B)		千円	1,524	1,144	1,153	1,161
総事業費(A+B)		千円	10,693	10,276	10,347	10,451

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	江別市勤労者研修センター管理運営費として、指定管理者へ管理代行させる	・指定管理料	9,194千円

<b>事業開始背景</b>
市内中小事業所への研修施設提供による人材育成支援
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
産業構造の高度化 昭和58年のセンター設立時より産業構造は大きく変化を遂げた。産業構造の高度化によるサービス産業の伸張に伴い、従業員の商品知識・接客技術の習得の必要性が高まっている。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
	上がっていない	
利用者は昨年と比較し、微増であり、一定水準を維持していることから、市内各事業所の人材育成を支援しているといえる。		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	<b>成果向上余地 中</b>	
	成果向上余地 小	
商工業団体等勤労者研修のみを目的としたものだけでなく、教育団体や福祉団体等を広く受け入れている。		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	ある	理由 根拠
	<b>なし</b>	
指定管理者に委託することで、経費を抑えて運営している。		

事業名：勤労者生活資金貸付事業

【事業番号 93】  
商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内在住及び市内事業所に勤務する従業員

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内事業所従業者数	人	33,694	33,426	33,426	33,426
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	勤労者生活資金貸付制度預託額	千円	3,500	3,500	3,500	3,500
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

低利率の融資により、市内勤労者の生活安定に寄与する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	新規生活資金利用者数	件	1	2	3	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	3,500	3,500	3,500	3,500
正職員人件費(B)		千円	381	381	384	387
総事業費(A+B)		千円	3,881	3,881	3,884	3,887

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。	・貸付金	3,500千円

<b>事業開始背景</b>
勤労者に対するセーフティネット構築の必要性
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
景気低迷の長期化により勤労者の給与が低下傾向で推移する中、勤労者の生活安定を図るための貸付制度の必要性。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b> 上がっている <b>どちらかといえば上がっている</b> 上がっていない	<b>理由根拠</b> 昨年より貸付が1件増加した。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
<b>成果向上余地</b> 成果向上余地 大 <b>成果向上余地 中</b> 成果向上余地 小	<b>理由根拠</b> 制度の周知方法の改善により、成果が向上する余地はある。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
<b>コスト</b> ある <b>なし</b>	<b>理由根拠</b> 預託額は必要最小限に抑えている。

事業名：勤労者福祉共済制度助成事業

【事業番号 94】  
商工労働課 主査（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市勤労者共済会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	勤労者共済会加入者数	人	888	910	909	909
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市勤労者共済会の管理運営費の一部として、江別市勤労者福祉共済制度助成事業補助金交付要領に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,124	2,124	2,125	2,336
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内の中小企業等の従事者の福祉向上に寄与する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	各種共済給付金給付額	千円	2,455	2,671	3,624	2,671
成果指標 2	各種福利厚生事業費	千円	1,709	2,023	2,085	2,023

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	2,124	2,124	2,125	2,336
正職員人件費 (B)		千円	762	381	384	387
総事業費 (A+B)		千円	2,886	2,505	2,509	2,723

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	江別市勤労者共済会に対し、運営費の一部を補助する。	・補助金	2,125千円

**事業開始背景**

市内中小企業への福利厚生事業支援による生活基盤の改善

**事業を取り巻く環境変化**

景気低迷の長期化による企業業績の悪化などから退会する事業所もあり、加入事業所数が伸び悩んでいる。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	業績の悪化や廃業により退会する事業所もあるが、新規加入の事業所もあり、一定の成果を得ている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	他団体が運営する共済制度との統合により、市内事業所の共済制度の一元化の可能性はある。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	平成17年度に補助の見直しを行い、役員報酬等の補助を廃止している。
	なし		

事業名：労働振興補助金

商工労働課 主査（地域雇用・産業連携）

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	廃止	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

単位組合の数が10組合以上で構成され、労働者の地位向上を図る団体

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	連合北海道江別地区連合組合数	団体	20	20	18	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別市労働振興補助金交付要領に基づき、労働相談・労働教育及び労働団体の推進など労働者の地位向上に関する事業などに対して、補助を行う。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	88	105	90	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内労働団体の労働条件を向上させるため、労働者の保護や意識啓発に関する事業を実施する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	81	341	166	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	88	105	90	0
正職員人件費 (B)		千円	762	763	769	0
総事業費 (A+B)		千円	850	868	859	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	労働者の地位向上や福利厚生に係る事業費の一部を補助する。	・補助金	90千円

<b>事業開始背景</b>
就労環境の改善の必要性
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
景気低迷の長期化による雇用環境の悪化 パート・未組織労働者などからの労働条件や生活に関する相談の増加

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	<b>上がっていない</b>	
組織数は一定水準を維持しているものの、活動が縮小されているため、全体の事業参加者数は大幅に減少している。		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	<b>成果向上余地 小</b>	
最小限の活動に留まっている。		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	<b>ある</b>	理由根拠
	なし	
活動が縮小傾向にあるため、平成31年度をもって補助を終了する。		

事業名：江別の顔づくり事業（商業等活性化事業）

商工労働課

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

野幌駅周辺地域  
「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	野幌駅周辺の面積	h a	8	8	8	8
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。  
・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10（事業費30万円以上のもの）を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	350	350	356	700
活動指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	7	7	9	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	活性化活動拠点の利用者数	人	1,922	3,628	3,297	3,628
成果指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	50,800	50,800	61,600	50,800

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	350	350	356	700
正職員人件費 (B)		千円	1,905	1,907	1,922	5,806
総事業費 (A+B)		千円	2,255	2,257	2,278	6,506

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助	江別の顔づくり支援促進事業補助金	356千円

<b>事業開始背景</b>
江別の顔づくり事業は、野幌駅を中心とした南北市街地を一体化し、「コンパクトな市街地の形成」や商業・業務、交通、文化・交流、居住などの「都市機能の充実による中心市街地活性化」を目的として、平成7年度の江別市新総合計画への位置付け以来、事業を推進している。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
H18. 6. 20都市計画決定（鉄道高架事業、土地区画整理事業、街路事業） H18. 11. 9事業認可告示（鉄道高架事業） H18. 11. 24事業計画決定（土地区画整理事業） H23. 6. 14事業認可告示（街路事業） R2. 3野幌駅南通開通 市の全ての基盤整備完了

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：旧岡田倉庫活用事業

【事業番号 743】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策						
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

旧岡田倉庫活用民間運営協議会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	旧岡田倉庫活用民間運営協議会会員数	人	24	24	23	24
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

アトスペース外輪船を芸術文化活動等の拠点として運営する協議会に対して「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付し、芸術文化事業の推進を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市民が芸術文化活動等の発表の場や自由に交流する空間としてアトスペース外輪船を活用することにより、江別の歴史や文化的な価値の高さを啓発するとともに、周辺地域の活性化に寄与する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	事業等開催数	回	111	118	89	118
成果指標 2	利用者数	人	4,133	3,800	2,176	3,800

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	1,010	14,421	11,743	11,743
正職員人件費(B)		千円	2,285	3,814	10,762	10,837
総事業費(A+B)		千円	3,295	18,235	22,505	22,580

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付</li> <li>平成12年に取得した旧岡田倉庫用地購入費に係る土地開発基金買戻し分(平成30年度から35年度までの6年間で償還)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金 1,000千円</li> <li>投資関係公有財産購入費 10,733千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

平成16年度に江別市街地区の活性化を図る一環で、地域の歴史的価値の高い「旧岡田倉庫」を後世に残すとともに、新たな地域文化の発信拠点として、北海道の「地域文化ネットワーク形成促進事業」を活用し、「アートスペース外輪船」として再生した。

**事業を取り巻く環境変化**

小規模ながら、趣のあるアートスペース外輪船の魅力が内外に定着してきている。演劇を主体とする団体が隣接地に移転してくるなど相乗効果が生まれ始めている。芸術文化事業のほか、幅広い活用がなされてきている中、平成28年度には、江別市指定文化財として登録を受けている。また、開発局札幌開発建設部において石狩川・千歳川の堤防整備計画が進められており、旧岡田倉庫の土地が用地買収の対象となっているため、旧岡田倉庫移転等に係る協議が必要である。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">新型コロナウイルス感染症の影響により、3月の利用が昨年度より大きく減少したが、旧岡田倉庫の認知度の上昇に伴い、年間を通じて積極的に活用されている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	新型コロナウイルス感染症の影響により、3月の利用が昨年度より大きく減少したが、旧岡田倉庫の認知度の上昇に伴い、年間を通じて積極的に活用されている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				新型コロナウイルス感染症の影響により、3月の利用が昨年度より大きく減少したが、旧岡田倉庫の認知度の上昇に伴い、年間を通じて積極的に活用されている。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">協議会の活性化による成果の向上はあり得る。また、今後の活用方法について、市の方向性を再度検討・協議することで、成果が向上する可能性がある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	協議会の活性化による成果の向上はあり得る。また、今後の活用方法について、市の方向性を再度検討・協議することで、成果が向上する可能性がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				協議会の活性化による成果の向上はあり得る。また、今後の活用方法について、市の方向性を再度検討・協議することで、成果が向上する可能性がある。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="2">老朽化した当該建物を必要最低限の費用で管理・運営しており、コストの削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	老朽化した当該建物を必要最低限の費用で管理・運営しており、コストの削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	▶				老朽化した当該建物を必要最低限の費用で管理・運営しており、コストの削減は難しい。	
なし							

事業名：江別駅前再開発事業

【事業番号 806】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略			
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策			
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

えべつみらいビルを中心とした江別駅周辺地区

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標1	えべつみらいビルテナント部分床面積	坪	1,296.72	1,296.72	1,296.72	1,296.72
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別駅前活性化の拠点施設である株SPCみらいの業務棟(えべつみらいビル)、福祉棟の健全な事業遂行・経営安定を図るため、えべつみらいビルの3、4階フロアを20年間借上げ

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標1	えべつみらいビル3、4階賃借料	千円	118,843	118,843	118,843	118,843
活動指標2	入居率(ビル全体)	%	60.4	60.4	46	100

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

コールセンター等をえべつみらいビルに誘致することで地区の昼間人口を増加し、地区の経済・社会を活性化する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標1	江別駅周辺地区の新規開業数	件	11	19	19	15
成果指標2	江別駅乗降客数	人/日	7,512	7,403	7,315	7,403

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	118,889	118,889	118,889	118,889
正職員人件費(B)		千円	3,809	3,814	3,844	3,871
総事業費(A+B)		千円	122,698	122,703	122,733	122,760

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	・えべつみらいビル3、4階の賃借	・えべつみらいビル3、4階賃借料	118,843千円

**事業開始背景**

江別地区市街地の活性化はまちづくり市民会議等地元が長年にわたって取り組んできた課題であった。これらから発展した（有）みらいの設立等地域の活性化への取り組みと連動して本事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

えべつみらいビル完成当初の入居率は6割程度であったが、平成21年度に3、4階フロアが満床となり、平成24年度には全フロアが満床となった。平成27年10月に入居企業が業務拡張により転居したことで、2、3階フロアが空室となった。平成28年度は2階に2社が入居、平成29年度には2階に1社、3階に1社が入居（増床）したが、平成31年度には1階の入居企業が退居し、現在1、2、3階の一部が空室となっている。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	

事業名：食を軸とした地場産品販路拡大支援事業

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中小企業者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	中小企業所数	所	3,468	3,351	3,351	3,351
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	7	8	10	8
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

販路拡大や商品開発・ブランド化に向けて、商談会や催事への企業出展が促進される。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	57	54	64	54
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	456	436	382	418
正職員人件費 (B)		千円	5,333	6,102	6,918	6,193
総事業費 (A+B)		千円	5,789	6,538	7,300	6,611

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別産品試食評価相談会の開催</li> <li>商談会、物産展（明治屋ストアーの「美味しい江別フェア」ほか）への参加支援</li> <li>江別産品リストの作成</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別産品試食評価相談会開催経費 59千円</li> <li>商談会、物産展（明治屋ストアーの「美味しい江別フェア」ほか）への参加支援 190千円</li> <li>江別産品リスト印刷費 97千円</li> </ul>

**事業開始背景**

安心安全な道産食品への需要の高まりが見られることから、機を逸することなく、江別産品を道内外、特にマーケットの大きい首都圏へ発信する機会が求められているため、食を軸とした地場産品の販路拡大を図る。併せて観光プロモーションを実施することにより観光客の誘客を図る。

**事業を取り巻く環境変化**

食の安心安全に対する消費者の意識が高まる中、道産品の需要は道内外から高まっており、市内事業者が求めるニーズと展開規模に合った江別産品の情報発信が必要である。平成27年度においては、シティプロモートの一環として、販路拡大及びブランド化を推進するため、「美味しい江別実行委員会」が東京丸の内において実施した食のプロモーション事業に対し、補助金を交付。また、この事業を発展させ、平成28年度からは、市・商工会議所・観光協会が連携し、首都圏を中心とした明治屋店舗における「美味しい江別フェア」を開催している。令和元年度末からは、新型コロナウイルスの影響を受け、経済活動が停滞している。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>地場産品の販路拡大に向け、商談会や物産展等への参加案内を市内事業者へ積極的にいき、出展数に一定の伸びをみせている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>地場産品の販路拡大に向け、商談会や物産展等への参加案内を市内事業者へ積極的にいき、出展数に一定の伸びをみせている。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>地場産品の販路拡大に向け、商談会や物産展等への参加案内を市内事業者へ積極的にいき、出展数に一定の伸びをみせている。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>過去に支援した企業が継続して商談会や物産展等へ出展しており、販路拡大の成果が一定数伸びている一方で、新規事業者の中でも特に小規模事業者については、人手、供給数、商品の日持ちや取引先との条件等の制限があることから、道内外への販路拡大を積極的に行いづらいつつ状況がある。従って、市内事業者の状況やニーズを把握し、きめ細かい支援（既存商品のブラッシュアップ、新商品開発のための相談会等）を行うことで、販路拡大の機会を創出する余地がある。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>過去に支援した企業が継続して商談会や物産展等へ出展しており、販路拡大の成果が一定数伸びている一方で、新規事業者の中でも特に小規模事業者については、人手、供給数、商品の日持ちや取引先との条件等の制限があることから、道内外への販路拡大を積極的に行いづらいつつ状況がある。従って、市内事業者の状況やニーズを把握し、きめ細かい支援（既存商品のブラッシュアップ、新商品開発のための相談会等）を行うことで、販路拡大の機会を創出する余地がある。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>過去に支援した企業が継続して商談会や物産展等へ出展しており、販路拡大の成果が一定数伸びている一方で、新規事業者の中でも特に小規模事業者については、人手、供給数、商品の日持ちや取引先との条件等の制限があることから、道内外への販路拡大を積極的に行いづらいつつ状況がある。従って、市内事業者の状況やニーズを把握し、きめ細かい支援（既存商品のブラッシュアップ、新商品開発のための相談会等）を行うことで、販路拡大の機会を創出する余地がある。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>現時点では、市内の多くの小規模事業者や小売店が道内外への販路拡大を目指し、商品の付加価値化や販路拡大のノウハウの取得を必要とすることから、行政による支援が必要である。これまで、事業費削減のため、相当な予算圧縮を進めてきたが、今後、道内外への大規模な販路拡大による事業効果を上げるためには、行政が市内事業者と一体となって取り組んでいく必要があり、それに伴いコストも一時的に増加する可能性がある。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>現時点では、市内の多くの小規模事業者や小売店が道内外への販路拡大を目指し、商品の付加価値化や販路拡大のノウハウの取得を必要とすることから、行政による支援が必要である。これまで、事業費削減のため、相当な予算圧縮を進めてきたが、今後、道内外への大規模な販路拡大による事業効果を上げるためには、行政が市内事業者と一体となって取り組んでいく必要があり、それに伴いコストも一時的に増加する可能性がある。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>現時点では、市内の多くの小規模事業者や小売店が道内外への販路拡大を目指し、商品の付加価値化や販路拡大のノウハウの取得を必要とすることから、行政による支援が必要である。これまで、事業費削減のため、相当な予算圧縮を進めてきたが、今後、道内外への大規模な販路拡大による事業効果を上げるためには、行政が市内事業者と一体となって取り組んでいく必要があり、それに伴いコストも一時的に増加する可能性がある。</p>				
なし						

事業名：総合特区推進事業

参事(総合特区推進)

政策	02 産業	戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり						
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策	(1) 健康増進活動の推進						
開始年度	平成24年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(フード特区)計画に取り組む組織・機関・団体等

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	特区協議会構成員数	団体	88	86	86	86
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・食の高付加価値化  
食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等
- ・海外市場の開拓  
海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付及び海外催事出展等の海外市場開拓支援事業の実施
- ・食のまちPR  
首都圏企業等へのフード特区事業PR

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	8,706	9,735	11,288	11,000
活動指標 2	補助金額	千円	6,897	6,825	6,919	7,000

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	食関連企業の新増設数	社	0	2	0	2
成果指標 2	健康企業・健康事業所宣言等認定数(平成31年度から)	社	0	0	28	30

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	12,312	13,493	13,412	12,958
正職員人件費(B)		千円	7,618	7,627	7,687	7,741
総事業費(A+B)		千円	19,930	21,120	21,099	20,699

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出</li> <li>・機能的食品開発を支援する補助金を交付</li> <li>・海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金を交付</li> <li>・海外催事出展のほか外国人観光客向けの情報発信、海外向け商品の研究や国際認証取得等に向けたワークショップの開催</li> <li>・フード特区の取り組みを首都圏企業等にPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フード特区機構負担金</li> <li>・機能的食品開発支援補助金</li> <li>・海外市場開拓等促進補助金</li> <li>・海外市場開拓支援事業</li> <li>・フード特区広報事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2,801千円</li> <li>6,500千円</li> <li>419千円</li> <li>1,858千円</li> <li>1,643千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
平成23年12月、内閣総理大臣より札幌市・江別市・帯広市・十勝管内18町村・函館市が総合特別区域法に基づく国際戦略総合特別区域に指定された。指定を受けた「札幌・江別エリア」は、「食品の安全性・有用性の分析評価と研究開発の拠点」の位置付けであることから、企業誘致推進事業の一環として立地環境整備支援を行い、食関連企業の集積を図る。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度：フード特区が平成28年度までの5年計画としてスタート。</li> <li>平成27年度：食品機能性開発に係る補助金の内容等見直しにより補助金額減。</li> <li>平成28年度：関係自治体等と協議のうえ、平成29年度以降5年間の延長申請を国へ行い、平成29年3月27日付にて認定された。</li> </ul>

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：商店街参入促進事業

【事業番号 6142】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成26年度	終了年度	令和元年度	区分1	廃止	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	119,510	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

コミュニティ活動啓発セミナー等を開催し、地域住民や学生など多様な主体がコミュニティビジネスなどの活動を商店街で始められるよう促す。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	セミナー開催数	回	3	1	1	0
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

商店街でのコミュニティ活動参加に対する機運を醸成するため、セミナー参加者を増やし参入の促進を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	セミナー参加者数	人	39	57	38	0
成果指標 2	参入相談件数	件	0	4	5	0

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	327	249	285	0
正職員人件費(B)		千円	2,285	2,288	2,306	0
総事業費(A+B)		千円	2,612	2,537	2,591	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動啓発セミナー等の開催(先進事例や実例紹介、意見交換)</li> <li>・活動参入者へのサポート事業の実施(補助金相談や商店街との調整等)</li> </ul>	コミュニティ活動啓発セミナー開催及び参入サポート事業に係る委託経費 285千円	

事業開始背景
商店街の衰退に歯止めをかけ、「地域コミュニティ活動の拠点」として商店街を活性化させるためには、地域住民が足を運ぶよう、これまで以上に積極的な仕掛けづくりが必要である。
事業を取り巻く環境変化
人口減少、少子高齢化が進展する中、大型店の寡占化や消費活動の多様化などにより、市内の商店街の衰退が顕著である。

令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3"> <p>セミナーの開催では多数の参加者が集まり、活発な意見交換が行われた。商店街での活動に前向きな意見も出たため今後大きく繋がると考えられるほか、セミナー後の相談支援によりコミュニティ活動への参加を促したことから、成果は上がっていると考える。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	<p>セミナーの開催では多数の参加者が集まり、活発な意見交換が行われた。商店街での活動に前向きな意見も出たため今後大きく繋がると考えられるほか、セミナー後の相談支援によりコミュニティ活動への参加を促したことから、成果は上がっていると考える。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				<p>セミナーの開催では多数の参加者が集まり、活発な意見交換が行われた。商店街での活動に前向きな意見も出たため今後大きく繋がると考えられるほか、セミナー後の相談支援によりコミュニティ活動への参加を促したことから、成果は上がっていると考える。</p>	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3"> <p>地域住民や学生など多様な主体が、商店街で趣味や特技を活かした事業活動を始められるよう、コミュニティ活動の啓発セミナー等を開催することにより、成果向上の余地があると考えます。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	<p>地域住民や学生など多様な主体が、商店街で趣味や特技を活かした事業活動を始められるよう、コミュニティ活動の啓発セミナー等を開催することにより、成果向上の余地があると考えます。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				<p>地域住民や学生など多様な主体が、商店街で趣味や特技を活かした事業活動を始められるよう、コミュニティ活動の啓発セミナー等を開催することにより、成果向上の余地があると考えます。</p>	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2"> <p>セミナーや支援事業に要する主な費用は人件費であり、最小限の人数で支援事業を行っていることから、これ以上の削減は事業の縮小に繋がるため困難である。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	<p>セミナーや支援事業に要する主な費用は人件費であり、最小限の人数で支援事業を行っていることから、これ以上の削減は事業の縮小に繋がるため困難である。</p>	なし	
ある	理由 根拠	▶				<p>セミナーや支援事業に要する主な費用は人件費であり、最小限の人数で支援事業を行っていることから、これ以上の削減は事業の縮小に繋がるため困難である。</p>	
なし							

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	廃止	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・市内企業
- ・市内大学に通学する大学生又は市内在住の大学生

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1 市内大学の在籍学生数	人	9,865	10,096	10,452	0
対象指標 2 市内事業所数	所	3,468	3,351	3,351	0

手段(事務事業の内容、手法)

有給インターンシップ事業への登録学生を募り、登録した学生に対して、基礎・応用研修と企業へのインターンシップを実施する。インターンシップは、原則、1事業所、最長1年間を上限に実施し、インターンシップ中は、賃金相当額を受入企業が負担する。その他、拠点施設を設置することで、施設内で研修や、企業等と学生の交流会等を実施する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1 有給インターンシップ新規登録者数	人	55	70	85	0
活動指標 2 市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	社	133	46	49	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ①学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。
- ②学生に市内企業を知ってもらう機会を増やすことにより、市内企業への就職意欲を高める。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1 有給インターンシップ参加学生数	人	46	66	57	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)	千円	13,036	13,079	13,482	0
正職員人件費(B)	千円	3,047	3,814	3,844	0
総事業費(A+B)	千円	16,083	16,893	17,326	0

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
有給インターンシップ事業の運営委託	有給インターンシップ事業の運営委託 13,478千円
元年度	

<b>事業開始背景</b>
<p>①学費や生活費の確保に苦勞して、通常のインターンシップ（無給）に取り組む経済的な余裕がない学生がいる一方で、十分に労働力を確保できない市内企業がある。</p> <p>②市内大学から市内企業に就職する者が少ない。</p>
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<p>・平成29年度から、国の地方創生推進交付金を活用し、事業を実施している。</p>

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：働きたい女性のための就職支援事業 商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	廃止	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

就職を希望している女性

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1 市内の女性数(15~64歳)	人	36,121	35,656	37,922	0
対象指標 2 ハローワーク江別管内女性有効求職登録者数	人	1,044	1,075	1,095	0

手段(事務事業の内容、手法)

①就職するために必要な接遇や技能に関する研修を実施する。  
②企業実習により女性の就職や就職後の定着を支援する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1 就職支援セミナー開催回数	回	7	6	6	0
活動指標 2					

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

働きたいと考える女性が就職もしくは再就職できるよう、課題を解決する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1 就職支援セミナー来場者数	人	108	87	80	0
成果指標 2 就職者数	人	58	57	51	0

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)	千円	20,959	18,472	16,467	0
正職員人件費(B)	千円	3,047	3,814	3,844	0
総事業費(A+B)	千円	24,006	22,286	20,311	0

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成事業(就職に向けた座学研修及び実務研修)の実施</li> <li>ハローワーク共催セミナーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成事業(就職に向けた座学研修及び実務研修)の実施委託 16,435千円</li> <li>ハローワーク共催セミナー実施に係る託児経費等 32千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
<p>経済動向・産業構造の変化や企業誘致の結果、市内ではパート等の求人が増えている一方、求人に対する応募者が少なく、企業が十分な労働力を確保できていない。出産や育児等により離職した女性等の潜在的な労働力を掘り起し、就職を支援するとともに、人手不足企業の労働力確保を支援する必要がある。</p>
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<p>平成27年度より江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業として位置づけられたことから、事業の内容を強化した。</p>

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3"> <p>就職支援セミナーの来場者数は減少傾向にあるが、就職者数は目標値を上回っている。 求職者のニーズとしては、単発のセミナーだけではなく、就職相談から就業スキルの獲得、就職までの長期的な支援を含めてサポートする必要があるため、本事業を廃止し、江別まちなか仕事プラザ事業の中で女性のための就職支援を引き続き実施する。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	<p>就職支援セミナーの来場者数は減少傾向にあるが、就職者数は目標値を上回っている。 求職者のニーズとしては、単発のセミナーだけではなく、就職相談から就業スキルの獲得、就職までの長期的な支援を含めてサポートする必要があるため、本事業を廃止し、江別まちなか仕事プラザ事業の中で女性のための就職支援を引き続き実施する。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				<p>就職支援セミナーの来場者数は減少傾向にあるが、就職者数は目標値を上回っている。 求職者のニーズとしては、単発のセミナーだけではなく、就職相談から就業スキルの獲得、就職までの長期的な支援を含めてサポートする必要があるため、本事業を廃止し、江別まちなか仕事プラザ事業の中で女性のための就職支援を引き続き実施する。</p>	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="3"> <p>本事業は令和元年度で廃止されるが、令和2年度以降は子育て支援施設「ぼこあぼこ」と隣接する江別まちなか仕事プラザを活用することで、子育て中の女性への就労支援を継続して行うことができる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	<p>本事業は令和元年度で廃止されるが、令和2年度以降は子育て支援施設「ぼこあぼこ」と隣接する江別まちなか仕事プラザを活用することで、子育て中の女性への就労支援を継続して行うことができる。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				<p>本事業は令和元年度で廃止されるが、令和2年度以降は子育て支援施設「ぼこあぼこ」と隣接する江別まちなか仕事プラザを活用することで、子育て中の女性への就労支援を継続して行うことができる。</p>	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">▶</td> <td rowspan="2"> <p>令和2年度から立ち上げる江別まちなか仕事プラザ事業の中で女性のための就職支援を行うことで、既存のセミナーを利用し、委託コストを下げられる。また、江別まちなか仕事プラザは子育て支援施設「ぼこあぼこ」と隣接していることから、子育て中の女性に気軽に利用していただくことができると考えている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	<p>令和2年度から立ち上げる江別まちなか仕事プラザ事業の中で女性のための就職支援を行うことで、既存のセミナーを利用し、委託コストを下げられる。また、江別まちなか仕事プラザは子育て支援施設「ぼこあぼこ」と隣接していることから、子育て中の女性に気軽に利用していただくことができると考えている。</p>	なし	
ある	理由 根拠	▶				<p>令和2年度から立ち上げる江別まちなか仕事プラザ事業の中で女性のための就職支援を行うことで、既存のセミナーを利用し、委託コストを下げられる。また、江別まちなか仕事プラザは子育て支援施設「ぼこあぼこ」と隣接していることから、子育て中の女性に気軽に利用していただくことができると考えている。</p>	
なし							

事業名：高校生就職支援事業

【事業番号 6160】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	廃止	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内高校の生徒

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	4,027	3,864	3,931	0
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	156	146	159	0

手段(事務事業の内容、手法)

高校生のインターンシップに対する支援(研修実施)  
就職希望者に対する研修  
企業交流会の実施

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	261	209	290	0
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	9	12	13	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

高校生に対し、適切な進路・職業を選択するための職業観の醸成、および進路や職業に就くための知識の習得を支援する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	95	90	93	0
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	88	86	80	0

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	2,500	2,399	1,621	0
正職員人件費(B)		千円	2,285	2,288	2,306	0
総事業費(A+B)		千円	4,785	4,687	3,927	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生インターンシップに対する事前研修の実施</li> <li>就職希望者に対する研修の実施</li> <li>企業交流会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施委託 1,620千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

若年者の早期離職率が高いが、これは就職前の就労観の未熟さや自分の適性に合っていない職業・企業に就職したことが大きな要因と考えられることから、早期にこれらに対する支援を行い、将来的な早期離職を防ぐ必要がある。

**事業を取り巻く環境変化**

雇用環境は改善しているが、高校生の適切な進路決定に対する支援やその後の早期離職対策といった面で、本事業の重要性は低下していない。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	研修参加者の8割以上が参加した意義を感じており、職業観の醸成や人材育成の効果が見られる。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	就業体験などの研修メニューは、他公共機関・民間企業等でも行っており事業重複を避けるため、本事業は廃止する。 企業交流会については、令和2年度の新事業である江別まちなか仕事プラザ事業の中で実施する。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	就業体験などの研修メニューは、他公共機関・民間企業等でも行っているためそちらの利用を促すことでコストは削減できる。
	なし		

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業 商工労働課（商工労働・商店街）

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

野幌商店街

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	野幌商店街	商店街	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。
- ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	コーディネーター数	人	1	1	1	1
活動指標 2	補助金額	千円	400	0	0	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。
2. 野幌商店街の集客力向上のため店舗を誘致する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	相談件数	件	93	131	99	70
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	0	0

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	2,849	2,454	2,451	2,451
正職員人件費 (B)		千円	3,809	3,814	3,844	3,871
総事業費 (A+B)		千円	6,658	6,268	6,295	6,322

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設	・コーディネーター委託費	2,451千円

**事業開始背景**

- ・緊急雇用創出事業（野幌駅周辺地区活性化事業）の終了後、引き続きコーディネーターを常設し、街路事業による商店街再編等の課題の解決が必要ことから当該事業を開始することとなった。
- ・平成26年度相談件数は、緊急雇用創出事業（4月～9月）で150件、本事業（10月～3月）で112件であり、合計262件となっている。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・人口減少、少子高齢化が進展する中、大型店の寡占化や消費活動の多様化などにより、市内の商店街の衰退が顕著である。
- ・令和2年3月に野幌駅南通が開通し、江別の顔づくり事業における市の全ての基盤整備が完了した。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>顔づくり事業の進行に伴い相談件数が落ち着いてきている。野幌駅周辺地区に係る新規誘致・出展に関する相談案件が多数あり、地域活性化を促すための効果があると考えられる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>顔づくり事業の進行に伴い相談件数が落ち着いてきている。野幌駅周辺地区に係る新規誘致・出展に関する相談案件が多数あり、地域活性化を促すための効果があると考えられる。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>顔づくり事業の進行に伴い相談件数が落ち着いてきている。野幌駅周辺地区に係る新規誘致・出展に関する相談案件が多数あり、地域活性化を促すための効果があると考えられる。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>野幌商店街による国の補助制度の活用などコーディネーターの支援が必要となる事業もあり、成果向上の余地がある考える。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>野幌商店街による国の補助制度の活用などコーディネーターの支援が必要となる事業もあり、成果向上の余地がある考える。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>野幌商店街による国の補助制度の活用などコーディネーターの支援が必要となる事業もあり、成果向上の余地がある考える。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>コーディネーター人件費以外の事務所経費等は商店街が負担しており、これ以上の削減は困難である。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>コーディネーター人件費以外の事務所経費等は商店街が負担しており、これ以上の削減は困難である。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>コーディネーター人件費以外の事務所経費等は商店街が負担しており、これ以上の削減は困難である。</p>				
なし						

事業名：工業団地環境整備事業

【事業番号 6194】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

工業団地

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	工業団地(第一、第二工業団地、RTNパーク)の面積	ha	387.9	387.9	387.9	387.9
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

団地内の劣化している道路を改修する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	工事費	千円	24,192	14,980	9,878	434
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

団地内の環境を整備することで、企業活動が円滑に進められる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	工事延長	m	242	102.3	54.3	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	24,970	14,980	9,878	434
正職員人件費(B)		千円	3,809	3,432	2,306	774
総事業費(A+B)		千円	28,779	18,412	12,184	1,208

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	工業町9号道路道路改修工事 L=54.3m	道路改修等工事費 9,878千円	

**事業開始背景**

工業団地の特性として、一般の道路と比べて大型車両の交通量が多く、舗装の老朽化が進み車両の走行性が著しく低下する状態となる。団地内企業の操業に支障が出ないよう環境を整備する必要があり、本事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

第1・第2工業団地は国道275号に隣接しており交通アクセスが良いため、近年物流関連企業が立地先として注目している。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	施工範囲は限られているが、計画的に改修が進められており、団地内の道路環境が改善されていることから成果を上げている。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	投下予算が成果に直結する事業であり、令和3年度以降に社会資本整備総合交付金を活用することによって、これまでと比べて施工範囲の拡大が期待でき、成果の向上が見込まれる。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	社会資本整備総合交付金を活用することで、コストを削減することが可能である。
	なし			

事業名：中小企業資金融資事業

【事業番号 6222】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略			
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市内の中小企業者

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市内の事業所数(非農林漁業)	所	3,426	3,311	3,311	3,311
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

市が市内金融機関へ必要な資金を預託し、中小企業者に対する低利の融資制度を運用する。また、企業が金融機関から貸付を受ける際、その債務を保証する信用保証協会へ支払う保証料について、全部又は一部を補助する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	新規融資額	千円	246,638	326,598	227,805	379,457
活動指標 2	信用保証料補給金額	千円	7,577	9,247	8,588	8,300

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

中小企業者の経営の安定、経営基盤の強化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	新規融資件数	件	88	94	77	113
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	1,100,744	1,146,452	1,137,259	1,244,683
正職員人件費(B)		千円	6,094	7,627	6,150	6,193
総事業費(A+B)		千円	1,106,838	1,154,079	1,143,409	1,250,876

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業振興資金融資</li> <li>小規模企業安定資金融資</li> <li>商工業近代化資金融資</li> <li>中小企業信用保証料補給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸付金 1,128,051千円</li> <li>斡旋・診断手数料 553千円</li> <li>信用保証料補給金 8,588千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
景気等の低迷により資金繰りが短期的に悪化した市内中小企業者等に対し資金を低利で融資するための「中小企業振興資金融資事業」、「小規模企業安定資金融資事業・中小企業振興融資診断事業（斡旋）」、経営基盤の強化と活性化を目指す市内中小企業者等に対し必要な資金を低利で融資するための「商工業近代化資金融資事業」、貸付を受ける際の保証料を補助する「中小企業信用保証料補給事業」の4事業を平成29年度に統合した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
中小企業庁の調査によると、中小企業・小規模事業者の業績は、2019年以降横ばいから低下傾向で推移しているとのこと。また、設備投資については横ばい傾向で推移している。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の中小企業・小規模事業者の業況は悪化すると考えられる。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
消費増税前の設備投資等により、融資額が一時的に激増した前年度と比較して、新規貸付件数、新規貸付融資額がともに減少しているものの、低利の融資制度により市内事業者の経営の安定に寄与している。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
経営安定のために資金を必要とする企業は依然として多い。経営が安定すると、融資の利用が減少すると想定され、金額と件数により成果を図ることは難しいものの、融資制度は中小企業者の経営基盤強化に寄与していると考えられる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
利用実績に応じて融資枠を設定している。今後の需要拡大の可能性もあるため、削減は困難である。		

政策	02 産業	戦略	
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策	
開始年度	令和元年度	終了年度	—
	区分1	新規	区分2 単独 補助金 奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

外国人技能実習生等とその受入れ企業

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1 市内外国人技能実習生等	人	0	0	225	216
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

- ・外国人技能実習生等や受入れ企業を対象とした研修会の実施
- ・江別国際センターで実施する「にほんご教室」への開催補助

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1 研修会開催数	回	0	0	1	1
活動指標 2 にほんご教室開催補助金額	千円	0	0	175	200

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・外国人技能実習生等が職場のほか、地域で快適に生活できるようにする。
- ・受入れを希望する企業や、既に受入れている企業が制度等への理解を深めることができるようにする。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1 にほんご教室参加延べ人数	人	0	0	87	112
成果指標 2 研修会参加人数	人	0	0	27	27

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)	千円	0	0	182	316
正職員人件費 (B)	千円	0	0	3,844	3,871
総事業費 (A+B)	千円	0	0	4,026	4,187

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
元年度 ・外国人技能実習生等や受入れ企業を対象とした研修会の実施 ・日本語教室開催の支援	・研修会開催に関する通訳への謝礼 7千円 ・日本語教室開催への補助 175千円

<b>事業開始背景</b>
平成29年11月に施行された技能実習法や平成31年4月に改正された入管法などを背景に、地方においても外国人技能実習生等の支援が望まれている。 技能実習制度の活用によって企業活動が順調に進むよう、企業が制度等への理解を深めるための支援や実習生が地域の一員として快適に過ごすための支援を行うため、本事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
市内の外国人技能実習生は増加傾向にあり、実習生を受入れている市内企業からは、外国人受入れに伴う相談体制の確保や、実習生が日本語を学ぶことが出来る場所の確保を望む声が多くなっている。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
令和元年度から開始したにほんご教室及び外国人技能実習生等を対象とした研修会だが、にほんご教室は延べ87人が参加し、また、研修会は5企業から27人の参加があった。今後も市内に居住する外国人技能実習生等の増加が見込まれることから、成果の向上が見込まれる。		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、令和2年5月以降は市内の外国人技能実習生等が微減しているが、今後感染が収束に向かえば増加が見込まれるため、成果向上の余地がある。		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
今後外国人技能実習生等の増加が見込まれることに伴い、にほんご教室の内容の充実化が求められる中で、運営を支援するためのコストを削減することは困難である。また、研修会の開催に関する経費は、講師及び通訳に対する謝礼という最低限の経費しか見込んでいないことから、コストの削減は難しい。		

事業名：創業スタートアップ支援事業

【事業番号 6406】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・創業に関心がある人や、創業に関する知識の少ない人及び関心があっても行動に起こせていない人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市民	人	0	0	119,510	119,510
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市の創業支援事業計画に位置付けられ、市と連携して取り組む創業機運醸成事業に対して補助

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	1,600	1,600
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・創業に関する知識の少ない人等の関心と理解が深まり、創業に関心を持つ人が増える。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	創業機運醸成事業参加延べ人数	人	0	0	591	270
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	0	0	1,600	4,794
正職員人件費(B)		千円	0	0	3,844	6,967
総事業費(A+B)		千円	0	0	5,444	11,761

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	創業機運醸成事業者への支援	創業機運醸成事業者への補助	1,600千円

<b>事業開始背景</b>
平成30年7月の改正産業競争力強化法では、国内の更なる開業率の向上を目指し、創業支援事業の概念を拡大させ、創業に関する普及啓発事業（創業機運醸成事業）も含めることとされた。江別市では、法改正を受け、市以外の者が実施する創業機運醸成事業を市と連携した創業支援事業とするため、江別市創業支援事業計画に創業機運醸成事業を位置づける計画変更を行い、当該事業者の事業活動を支援するため、本事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
平成30年7月に産業競争力強化法が改正され、創業支援事業の概念が拡大し、創業機運醸成事業も含めることとされた。江別市では当該事業を実施する事業者との連携を図るため、創業支援事業計画に創業機運醸成事業を位置づけるための計画変更を行った。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>理由 根拠</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>プログラマーとしての技術を習得させるプログラミングスクールなどを実施するIT人材育成スクールの開催、3Dプリンターなどデジタル工作機械などを使用した新しいものづくりに触れる場を提供するものづくり講習会の実施、インターネット社会での必須技術を習得するホームページ作成講習会の実施、起業相談窓口の設置といった多方面からの充実した支援により、江別市創業支援事業計画での創業機運醸成事業目標数270人を上回る591人の参加があった。</p>
	<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>理由 根拠</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>今後も多方面からの充実した支援を継続することで成果の向上が見込まれる。</p>
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	<p>ある</p> <p>理由 根拠</p> <p>なし</p>	<p>創業機運醸成事業者が実施する当該事業の補助対象経費に対して最低限の補助に留めているため、当該事業者の事業活動を支援するにあたり、これ以上のコスト削減は困難である。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

やきもの市実行委員会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	11	11	10	11
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「えべつやきもの市事業補助金交付要領」に基づき、総事業費のうち、事務局費を除いた宣伝費、会場費、事業費を対象に3分の1以内の額の補助金を交付。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,700	2,700	3,000	2,700
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市のPR、芸術文化の振興及び地域経済の活性化に寄与するとともに、イベントとしての楽しさを創造し一定の来場者数を確保する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	来場者数	人	41,800	29,500	35,500	35,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	2,700	2,700	3,000	2,700
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,907	1,537	774
総事業費 (A+B)		千円	4,224	4,607	4,537	3,474

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	えべつやきもの市実行委員会への補助金交付	えべつやきもの市イベント振興事業補助金	3,000千円

<b>事業開始背景</b>
えべつやきもの市は、やきもの文化の市民生活への広がりなどを目的とし、平成2年から開催され、以来市より補助をしている。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
例年江別地区で開催してきたが、シャトルバスの運行ができないこと、出店者用の駐車場（江別小学校跡地）が使えなくなる可能性があることにより、今後は開催場所の変更を予定している。当イベントは、当初民間の事務局で開始、その後陶芸の里構想との関連づけから工業振興課→セラミック・アートセンターと変わり、陶芸の里構想の見直しとNPO法人やきもの21設立を契機に再び民間（やきもの市実行委員会）による開催となっている。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）</b>						
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3">理由根拠</td> <td rowspan="3"> <p>昨年度から来場者数は増加しており、やきものまち江別のPRや会場周辺の経済効果等に一定程度の成果は上がっているものの、会場近隣に来場者用の駐車場が少なく、車での往来に不便な点があることから、目標値には達していない。</p> </td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由根拠	<p>昨年度から来場者数は増加しており、やきものまち江別のPRや会場周辺の経済効果等に一定程度の成果は上がっているものの、会場近隣に来場者用の駐車場が少なく、車での往来に不便な点があることから、目標値には達していない。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
	上がっている	理由根拠			<p>昨年度から来場者数は増加しており、やきものまち江別のPRや会場周辺の経済効果等に一定程度の成果は上がっているものの、会場近隣に来場者用の駐車場が少なく、車での往来に不便な点があることから、目標値には達していない。</p>	
	どちらかといえば上がっている					
上がっていない						
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3">理由根拠</td> <td rowspan="3"> <p>現時点で江別市のPR、文化振興ならびに地域経済活性化に寄与していることや、実施方法を変更する場合は実行委員会の協議が必要になることから、これ以上の成果向上余地はほほないかと思われる。</p> </td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由根拠	<p>現時点で江別市のPR、文化振興ならびに地域経済活性化に寄与していることや、実施方法を変更する場合は実行委員会の協議が必要になることから、これ以上の成果向上余地はほほないかと思われる。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
	成果向上余地 大	理由根拠			<p>現時点で江別市のPR、文化振興ならびに地域経済活性化に寄与していることや、実施方法を変更する場合は実行委員会の協議が必要になることから、これ以上の成果向上余地はほほないかと思われる。</p>	
	成果向上余地 中					
成果向上余地 小						
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？</b>						
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2">理由根拠</td> <td rowspan="2"> <p>例年どおりの開催であれば、出店料と補助金、一部協賛金等で運営しており、補助金額の削減は出店側の負担を大きくすることになり、参加者の減少につながる。実行委員会も経費削減に積極的に努力しているが、警備人件費等が高騰しており、補助金の削減は、来場者へのサービスの低下を招くことが危惧される。 なお、開催会場の変更によってはシャトルバスの運行費や警備人件費等が削られる可能性があるため補助金額の削減も考えられる。</p> </td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由根拠	<p>例年どおりの開催であれば、出店料と補助金、一部協賛金等で運営しており、補助金額の削減は出店側の負担を大きくすることになり、参加者の減少につながる。実行委員会も経費削減に積極的に努力しているが、警備人件費等が高騰しており、補助金の削減は、来場者へのサービスの低下を招くことが危惧される。 なお、開催会場の変更によってはシャトルバスの運行費や警備人件費等が削られる可能性があるため補助金額の削減も考えられる。</p>	なし	
	ある	理由根拠			<p>例年どおりの開催であれば、出店料と補助金、一部協賛金等で運営しており、補助金額の削減は出店側の負担を大きくすることになり、参加者の減少につながる。実行委員会も経費削減に積極的に努力しているが、警備人件費等が高騰しており、補助金の削減は、来場者へのサービスの低下を招くことが危惧される。 なお、開催会場の変更によってはシャトルバスの運行費や警備人件費等が削られる可能性があるため補助金額の削減も考えられる。</p>	
なし						

事業名：北海鳴子まつり事業補助金

【事業番号 80】  
観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

えべつ北海鳴子まつり実行委員会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	16	14	14	14
対象指標 2	出場チーム数	団体	46	52	49	49

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「北海鳴子まつり事業補助金交付要領」に基づき、北海鳴子まつり実行委員会へ補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,700	1,700	1,700	1,700
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民相互の交流、観光誘客による市内経済の活性化を図る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	来場者数	人	19,000	23,000	33,000	33,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	1,700	1,700	1,700	1,700
正職員人件費 (B)		千円	762	763	769	774
総事業費 (A+B)		千円	2,462	2,463	2,469	2,474

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	えべつ北海鳴子まつり実行委員会への補助金交付	北海鳴子まつり補助金	1,700千円

<b>事業開始背景</b>
躍動感あふれる新しい踊りの文化を創造するとともに、市民相互の交流拡大、地域コミュニティの振興を図るまつりとするため、補助を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
札幌で開催されるYOSAKOIソーランまつりが大規模化する中、いわゆる「YOSAKOIブーム」の流れの中で、各地で類似のイベントが多く開催されるようになってきている。北海鳴子まつりも、鳴子チームよりもYOSAKOIチームが多い年もあるなど、鳴子まつりとしての独自性が保ちづらい状況である。しかし、この類の祭りは、次第に“北海道的”な風物詩ともなりつつあり、えべつ北海鳴子まつりは、類似イベントの中では北海道内でも大規模なイベントとなっている。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
来場者数はイベント当日の天候にも大きく左右されるが、YOSAKOIソーランまつりの大賞、準大賞チームを招待するなどの取組みにより、来場者が増加している。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
北海鳴子まつりは令和元年度で第25回の開催を迎え、江別の夏の風物詩として定着している。また、来場者数は増加傾向にあり、取組みによっては今後も成果向上の余地があるといえる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
実行委員会では、既に野幌地区市民まつりとの同時開催を実施しているほか、グッズの販売などによる自主財源の確保に努め、補助金額減少に努めている。しかし、ステージや音響設備など、一定の固定費がかかるため、補助金の削減は、来場者等へのサービスの低下を招くことが危惧される。一方で協賛金の確保については、経済情勢にも左右されるため、大手スポンサーや企業ぐるみの参加があれば、コスト削減の可能性はあるが、現時点では難しい。		

事業名：江別市民まつり事業補助金

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	03 観光による産業の振興		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民まつり実行委員会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市民まつり実行委員会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市民まつり事業補助金交付要領」に基づき、各市民まつり実行委員会に対して、イベント開催に直接関係のある事業の経費に2分の1（1地区の上限60万円、花火大会開催に関する経費は上限45万円）の額の補助金の交付

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,250	2,250	2,250	2,250
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民相互の交流と、地域コミュニティを醸成する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	来場者数	人	79,500	76,500	74,000	74,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	2,250	2,250	2,250	2,250
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,907	769	774
総事業費 (A+B)		千円	3,774	4,157	3,019	3,024

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	市民まつり実行委員会への補助金交付	市民まつり補助金	2,250千円

**事業開始背景**

北国の短い夏のひとときを明るく、楽しく過ごすために多彩な行事を実施し、市民が楽しく参加できるまつりとするため、補助を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

商店街が実行委員会の中心であったことから、事業開始当初は商業振興を目的とした補助であったが、現在は、市民参加型イベントへと変容してきており、市民相互の交流や地域コミュニティの醸成といった意味合いが増している。  
 なお、約50年続いた江別地区の市民まつり及び同日開催の花火大会は商店街店舗の減少、実行委員の高齢化、後継者不足等の事情により、事業継続が困難となったことから令和元年の開催を以て終了となった。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
一定程度の来場客があり、地域のコミュニティの形成に役立っている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
市内3箇所で開催されている市民まつりを1箇所に統合するなどの枠組みを変えることは、観光入込につながるとしても、主目的である市民の相互交流や地域コミュニティの醸成を妨げる結果となりかねないことから適切ではない。来場者の興味を引くイベントを実施することで、来場者数を伸ばすことはある程度可能と思われるが、ふるさと意識の醸成や協働のまちづくりなど、各方面の取り組みが総合的に作用した結果、市民まつりの存在意義も同時に上がってくると思われ、一過性の成果向上をことさら求める類ではないと思われる。 また、商店街店舗の減少、実行委員の高齢化、後継者不足により、江別地区の市民まつり及び花火大会が令和元年を以て終了したことから、成果指標が向上する余地は小さい。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
費用を最小限に抑えるための“市民手作り”の運営は既に行われており、現状において、コストの削減は規模の縮小につながる。		

事業名：江別観光協会補助金

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別観光協会

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	210	226	235	231
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業へ補助金を交付する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,940	2,581	2,585	2,710
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

観光パンフレットの発行、ホームページ及びSNS等による情報発信、特産品PR等の観光振興に関する事業に取り組むことができる。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	観光協会事業件数	件	9	9	9	8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	2,940	2,581	2,585	2,710
正職員人件費 (B)		千円	1,524	1,525	1,537	1,548
総事業費 (A+B)		千円	4,464	4,106	4,122	4,258

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	江別観光協会事業への補助金交付 ・（補助金事業） ・観光パンフレット「えべつコレクション」の作成・発行 ・観光PR（ホームページ作成・SNS発信・観光名刺作成） ・特産品PR（イベント等への参加）	（補助金事業） ・観光パンフレット「えべつコレクション」の作成・発行費 1,917千円 ・観光PR経費（ホームページ作成・SNS発信・観光名刺作成）319千円 ・特産品PR事業（イベント等への参加） 68千円	

**事業開始背景**

江別観光協会は、昭和32年に賛同者20数名をもって設立され、以来市から補助金を支出している。

**事業を取り巻く環境変化**

札幌を中心とする広域圏での誘客の取り組み。  
 JR野幌駅に隣接した中規模宿泊施設の開業。  
 新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	観光パンフレットの発行やSNS等での積極的なPR活動を実施した結果、PR効果を期待する飲食店をはじめとする新規入会者も一定数あり、成果数値に反映されないものの、一定の成果は認められる。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	現状の体制においては、PR活動等最大限の取組を実施しており、さらなる活動には、マンパワーの強化が必要である。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	観光パンフレットの作成や、ホームページの管理運営、情報発信など取組の質を維持するためには、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし		

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

市民及び観光客

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市民	人	118,979	118,971	119,510	119,510
対象指標 2	観光入込客数		915,337	1,353,315	1,190,090	1,353,315

**手段（事務事業の内容、手法）**

歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	営業日数	日	362	361	362	361
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

江別市をはじめ、姉妹都市グレスラム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	32,486	21,108	23,708	21,108
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	11,516	5,857	6,511	5,857

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	7,695	7,395	7,599	8,591
正職員人件費 (B)		千円	3,047	3,814	3,844	3,871
総事業費 (A+B)		千円	10,742	11,209	11,443	12,462

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	アンテナショップ管理運営 壁面黒板チョークアート	アンテナショップ管理運営委託料 壁面黒板チョークアート製作委託料	7,325千円 100千円

**事業開始背景**

江別グレシャムアンテナショップとして、旧ヒダ工場の一部利活用を図ってきたが、商業施設として施設全体が活用されることに伴い、江別の魅力発信や観光案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてリニューアルした。

**事業を取り巻く環境変化**

友好都市の特産品の販売イベント等を開催することで、アンテナショップの年間の利用者は昨年度より増加しているものの、施設全体の利用者の減少に伴い、アンテナショップの利用者は横ばい傾向にある。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？					
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table> <p>商業施設全体の来場客数の減少により、アンテナショップの利用者は長期的にみれば減少しているものの、友好都市の特産品の販売イベント等の開催により、昨年度と比べると増加傾向にある。</p>	上がっている	理由 根拠	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠				
どちらかといえば上がっている					
上がっていない					
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？					
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table> <p>特産品を販売するイベント等の開催や積極的な江別の観光情報等の発信を継続することで、更なる来場者の増加が見込まれる。</p>	成果向上余地 大	理由 根拠	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠				
成果向上余地 中					
成果向上余地 小					
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？					
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table> <p>必要最低限の委託費を計上しており、削減することは施設の管理運営に支障をきたすため困難である。</p>	ある	理由 根拠	なし	
ある	理由 根拠				
なし					

事業名：地域発見魅力発信事業

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

周辺市町村

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	6
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	174,498	186,318	194,451	186,605
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	348,600	313,985	335,981	347,197

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)		千円	6,511	6,327	3,814	4,575
正職員人件費(B)		千円	6,094	6,102	6,150	6,967
総事業費(A+B)		千円	12,605	12,429	9,964	11,542

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
元年度	留学生向けバスツアー事業 SNSによる風景写真等の情報発信 ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) ノハナショウブ保存活用事業 地域おこし協力隊事業 ものづくりイベント事業	留学生向けバスツアー実施に係る経費 ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) ノハナショウブ保存活用事業 地域おこし協力隊事業 ものづくりイベント事業	179千円 37千円 614千円 2,548千円 300千円

<b>事業開始背景</b>
江別市は宿泊施設が少なく、日帰りで訪れる環境客が大部分を占めている。また、人口が減少しており、定住人口獲得も課題となっている。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
国の観光ビジョン策定など観光産業に関する重要度は高まっており、広域観光やインバウンド対応、地域おこし協力隊制度の活用、SNSの積極的発信など新たな事業展開が必要となってきた。また、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、マスク等の着用、ソーシャルディスタンス等の新しい生活様式に合わせた事業の実施方法が求められている。

<b>令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	

事業名：観光振興計画推進事業

観光振興課 観光振興係

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市外の人

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	江別市外の人（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地方創生推進交付金を活用し、江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	事業実施件数	件	6	6	9	6
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	2	2	3	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図ります。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	観光入込客数	人	915,337	1,353,315	1,190,090	1,353,315
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	13,892	13,469	10,256	8,379
正職員人件費 (B)		千円	6,094	5,339	7,687	8,515
総事業費 (A+B)		千円	19,986	18,808	17,943	16,894

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	日帰り周遊観光の推進 サイクルツーリズムの推進 観光セミナーの開催 市外プロモーション リアル謎解きゲーム 新商品開発支援 観光PRツールの作成	観光振興計画推進事業委託料	7,981千円
		観光PRツール作成費用	1,347千円
		江別市産業連携新商品等開発支援補助金	889千円

**事業開始背景**

江別市の交流人口を増やし、地域経済を活性化するために、実際に江別市に来てもらい、まちを知ってもらう事が重要であるため、市民・観光関連事業者・行政など江別市の観光に携わる全ての人が連携を取り合って、平成29年度に策定した江別市観光振興計画に基づき、効果的な観光振興の取組を行うものである。

**事業を取り巻く環境変化**

観光関連施設の新設等により、観光入込客数が増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症の影響等、観光を取巻く状況は大きく変化している。社会的な情勢では、人口減少、少子高齢化により若年労働力が低下する新たな社会構造の中で、高い付加価値を生み出すことが出来る産業振興が課題となっている。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>平成29年度に策定された観光振興計画に基づき、観光振興による交流人口の増加等を目的とした地域資源の活用や認知度向上に向けた情報発信、市民や市内事業者へ観光意識の醸成を図るため観光セミナー等を実施し、一定の成果を上げていたが、北海道立自然公園野幌森林公園に出没した熊や新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度の観光入込客数は減少した。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>観光振興計画に基づいた事業は、市全体の観光振興・地域経済等の活性化につながるため、市民、民間、行政が役割を分担しつつ、連携を取り合い、自主的・積極的に取り組んでいくことで、更なる観光振興の向上へつながる余地がある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>観光を取巻く状況は大きく変化しており、観光振興計画に基づく事業の推進により成果指標である観光入込客数の維持または増加を図るには、一定のコストが必要である。</p>		

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

市民及び観光客

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1	市民及び観光客（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、手法）**

市民交流施設内にある江別市民活動センターにおいて観光案内業務を委託し、当市の観光の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1	営業日数	日	0	0	94	359
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

江別市の観光情報等、魅力を発信し、市民や観光客の情報収集の場とする。

指標名		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1	観光案内利用者数	人	0	0	144	1,080
成果指標 2						

事業費の推移		単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	1,057	2,811
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,537	774
総事業費 (A+B)		千円	0	0	2,594	3,585

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
元年度	・市民や観光客の求めに応じた問合せ対応や江別市に関する観光情報の発信、特産品の宣伝等	・市民交流施設内における観光案内業務委託料	723千円
		・市民交流施設開設に係る観光案内業務用備品購入費	334千円

**事業開始背景**

平成30年度に、市民や市民団体、有識者等で構成された「市民交流施設利活用検討会」にて、市民交流施設の利活用について検討され、提案のひとつとして、江別の魅力を発信するための、観光案内について提案があった。  
 また、市民交流施設の利活用案に対するパブリックコメントにおいても、観光情報の提供を望む意見が市民から寄せられた。  
 市としては、市民交流施設にて、市民や隣接地の宿泊施設などを利用する観光客に向けて、当市の観光情報を提供することは、行政サービスの向上及び情報発信の強化に繋がることから、令和元年12月に開館した市民交流施設内に観光案内業務を委託したものである。

**事業を取り巻く環境変化**

令和元年12月に市民交流施設が開館し、JR野幌駅に近く、ホテル「リポーン野幌」にも隣接していることから、観光客、ホテル宿泊者、市民等多様な利用者に向けて江別市の観光情報、イベント情報、特産品等情報発信を行い、行政サービスの向上を図るため、観光案内業務委託を開始した。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客や施設利用者が減少し、観光案内利用者数は伸びていない。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息し、従来通りの人の往来や各種市内イベントの開催等により、向上が期待できる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
必要最低限の委託費を計上しており、削減することは施設の管理運営に支障をきたすため困難である。		

事業名：消費者保護育成事業

【事業番号 6202】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	04 安全・安心	戦略	
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保	具体的施策	
開始年度	平成28年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2 補助 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
対象指標 1 市民	人	0	118,971	119,510	119,510
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

- ・江別消費者協会への消費生活相談業務委託
- ・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託
- ・江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。
- ・消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
活動指標 1 年間相談開催日数	日	244	244	240	243
活動指標 2 消費啓発講座等開催回数	回	17	20	17	20

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

被害の未然防止や被害後の救済の支援を行うことで、市民が安心・安定した消費生活を送ることができる。

指標名	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
成果指標 1 消費生活相談受付件数	件	740	637	689	637
成果指標 2 消費啓発講座等参加者数	人	779	948	739	948

事業費の推移	単位	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度当初
事業費(A)	千円	7,556	7,186	7,463	6,687
正職員人件費(B)	千円	3,809	3,814	3,844	3,871
総事業費(A+B)	千円	11,365	11,000	11,307	10,558

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
元年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・江別消費者協会への消費生活相談業務委託</li> <li>・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託</li> <li>・江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。</li> <li>・消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活相談業務委託 4,161千円</li> <li>・消費生活コーディネーター業務委託 442千円</li> <li>・江別消費者協会補助金 2,512千円</li> <li>・消費活動啓発事業補助金 227千円</li> </ul>

**事業開始背景**

消費者保護法制の改正に伴う消費者の保護及び自立支援

**事業を取り巻く環境変化**

消費生活環境の多様化・複雑化  
 高度な情報化社会へと発展した昨今、消費者を取り巻く環境も複雑なものへと変化しており、消費者の利益を適正に保護するため、消費生活相談業務や啓発活動等の重要性は高い。

**令和元年度の実績による担当課の評価（令和 2年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">相談内容は複雑化しており、解決に困難を要する案件が増加している。そのため、消費者のセーフティネットとしての重要性が高い。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	相談内容は複雑化しており、解決に困難を要する案件が増加している。そのため、消費者のセーフティネットとしての重要性が高い。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	相談内容は複雑化しており、解決に困難を要する案件が増加している。そのため、消費者のセーフティネットとしての重要性が高い。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">通信技術の発達により、架空請求や通販トラブルが増加することが見込まれ、相談件数は増加すると思われる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	通信技術の発達により、架空請求や通販トラブルが増加することが見込まれ、相談件数は増加すると思われる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	通信技術の発達により、架空請求や通販トラブルが増加することが見込まれ、相談件数は増加すると思われる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">消費生活に関する広範な問題を取り扱う唯一の機関であり、コストの削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	消費生活に関する広範な問題を取り扱う唯一の機関であり、コストの削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	消費生活に関する広範な問題を取り扱う唯一の機関であり、コストの削減は難しい。				
なし						